

2023 年度 入試向け

プレテスト第二回問題

解答用紙	・ ・ ・ ・ ・	P.1-2
国語問題	・ ・ ・ ・ ・	P.3-17
算数問題	・ ・ ・ ・ ・	P.18-22
回答と配点	・ ・ ・ ・ ・	P.23-24
算数解説	・ ・ ・ ・ ・	P.25-26
国語解説	・ ・ ・ ・ ・	P.27-36
成績参考資料	・ ・ ・ ・ ・	P.37
合格判定基準	・ ・ ・ ・ ・	P.38
教科別総括	・ ・ ・ ・ ・	P.39
教科概評	・ ・ ・ ・ ・	P.40
出題意図	・ ・ ・ ・ ・	P.41-42
国語入試問題の出題内容について		P.43-45



桃山学院高等学校
St. Andrew's School



202310130



受験番号					名前
P					
	①	①	①	①	
	②	②	②	②	
	③	③	③	③	
	④	④	④	④	
	⑤	⑤	⑤	⑤	
	⑥	⑥	⑥	⑥	
	⑦	⑦	⑦	⑦	
	⑧	⑧	⑧	⑧	
	⑨	⑨	⑨	⑨	

2023年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回
算数 解答用紙

1	(1)	(2)	(3)	(4)	mL
---	-----	-----	-----	-----	----

2	(1)	人	(2)	cm
	(3)		(4)	試合
	(5)	本	(6)	cm ³

3	(1)	cm	(2)	:	:	(3)	cm ²
---	-----	----	-----	---	---	-----	-----------------

4	(1)	km	(2)	分後	(3)	m
---	-----	----	-----	----	-----	---

5	(1)	L	(2)	分後
---	-----	---	-----	----

6	(1)	個
	(2)	A , B , C , D , E
	(3)	個

合計
※

桃山学院中学校 プレテスト第二回 問題

国語 [五十分・百五十点]

注意事項

- 1 問題用紙は1ページから15ページまであります。
- 2 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 3 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入してください。
- 4 解答用紙の余白には何も記入しないでください。
- 5 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 6 「終了」の合図で筆記具を置き、監督の先生の指示に従ってください。

受験番号			名前
P			

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

① 表のデータは、FAOによって二〇一五年に公表されました。FAOは同時に、過去にさかのぼって、世界の② 栄養不足人口がどのように変化してきたかについてもデータを示しています。

それによると、少しずつですが、栄養不足人口の数も人口全体に占める割合も低下してきました。三〇年ほど前には一〇億人を超えていて、五人に一人が栄養不足でしたが、食料生産がだんだんと増えてきて、状況の改善につながっているのです。もう一つ、栄養不足の人を減らすためにとても大切なことがあります。それは、まずしい人々の割合が減ることです。栄養不足の大きな原因は、

表 栄養不足の人々の分布 (2014-2016年)

世界合計	7億9500万人
先進国	1500万人
発展途上国	7億8000万人
北アフリカ	400万人
サブサハラ・アフリカ	2億2000万人
西アジア	1900万人
南アジア	2億8100万人
コーカサス・中央アジア	600万人
東アジア	1億4500万人
東南アジア	6100万人
ラテンアメリカ	2700万人
カリブ海域諸島	800万人
オセアニア	100万人

「The State of Food Insecurity in the World 2015」FAOをもとに作成

十分な食料を買うお金がないことだからです。

さて、将来はどうなることでしょう。明るい見通しとはいえないようです。実は、FAOは二〇一八年に「近年、栄養不足の人口は増えてきている」と発表しているのです。途上国で経済発展が進まないことや政治的な混乱があることなどが、貧困問題を深刻にしているとも述べています。さらに、今後のことを考えるときに、③ 経済の成長によって世界の食料消費が増加することにも注意しなければなりません。

経済が発展して所得が増えると、肉や乳製品、卵などの消費量がぐんと増えます。すると、畜産をさかんにするために、トウモロコシや小麦などの穀物がえさとして大量に使われることとなります。同じような変化は今後、南アジアの国々や中国の内陸部などにも広がるのが予想されます。毎日おいしい肉や乳製品が食べられ、豊かな食生活が実現するのはよいことですね。

よいことではあるのですが、世界の食料の消費量が増えることは、食料の価格が上がることもつながります。みんなが大量にほしがれば、生産者は、より高く買ってくれるところに売ろうとするからです。過去の経験から、食料の値上がりは国境を越えて伝わるのが知られています。ある地域の食生活が豊かになると、それは別の国の食べ物や物の価格の値上げにもつながります。A、その国のまずしい人たちが十分に食べられなくなってしまう可能性があるので。

もちろん、消費量が増える以上に食料の生産が増えれば、価格は上がらないかもしれません。B、確かなことはだれにもわかりません。あまい見通しはさけたほうがよいというのが、わたしの意見です。

栄養不足人口は、主に途上国の問題であることを確認しました。しかし、先進国と関係がないわけではありません。とくに、日本のように海外から大量の食料を輸入している国は、食料をめぐる途上国の問題から影響を受けることを考えておかなければなりません。このことでは思い出すのは、二〇〇七年から二〇〇八年にかけてのことであります。おうちの人に聞いてみると、その当時のことを教えてもらえるかもしれません。

穀物や大豆の価格が急上昇しました。価格が上がる前の二〇〇六年一月とくらべると、小麦が四倍、トウモロコシが三・六倍、米と大豆が三・五倍と、どれも過去の記録をぬりかえるほどの高い値段になりました。きっかけは、オーストラリアの水不足やヨーロッパの天候不順によって生産が減ったことでしたが、ほかにもいくつかの理由が重なったのです。

④その一つが、一〇を超える国々が穀物の輸出を禁止したことでした。実は、この中に先進国はふくまれていません。⑤輸出を禁止したのは、ふだんから食料の確保に苦労している人が多くくらす途上国だったのです。いつもの年であれば、穀物の輸出も少しはできていたのですが、このときは、価格が急上昇し始めると、輸出を禁じたのです。なぜだかわかりますか。

もし高い価格で売れることで外国へ輸出してしまうと、国内の食料が不足するからです。不足すると、国内の価格も上がってしまいます。もともと食料の確保に苦労している人々の多い国でしたので、さらに値段が上がれば、大騒ぎになることが十分に予想できたのです。輸出を禁止することで、国内の消費者を優先したというわけです。【あ】

その結果、世界的には品物が足りなくなり、さらに価格はぐんと上がってしまったのです。【い】その影響を大きく受けたのが、穀物や大豆を大量に輸入している国でした。【う】同じように大量に食料を輸入している韓国や台湾でも似た状況になりました。

【え】小麦製品や大豆製品が値上がりしたのです。【お】将来の食料生産は安心してできないことをお話ししました。けれども、安心してないからこそ、一段と力を入れるべき取り組みがあります。それは⑥食料をめぐる国際協力をつづけることであり、強化することです。

ひとことで「食料の国際協力」といっても、さまざまなかたちがあります。大きく分けると、三つのタイプがあるのです。

天候不順や自然災害によって十分な農作物が得られず、食料不足となっている地域への対応や、戦争をしている地域から避難している人々のための食料の確保など、緊急に食料支援を必要とする事態が途上国ではひんばんに起こっています。ひとりでも多くの人の命を救うために、「大急ぎで支援しなければならぬ」という点に特徴があります。このようなタイプの国際協力をささぐってきたのが、WFPの頭文字で知られる国際連合世界食糧計画(World Food Programme)です。

WFPは飢餓から人々を救うための国際機関であり、各国の政府や個人からの基金によって運営されています。船や飛行機などの輸送手段の心配とともに、一万人を超える職員が途上国の現場ではたらいっていることで知られています。

第二のタイプは、食料生産の技術支援です。このタイプの国際協力は、さらに二つに分けることができます。一つは、作物の新しい品種をほかの国に広げることや、作物に適した栽培方法を伝えることです。このかたちの国際協力で有名なものは、メキシコやフィリピンに設立された研究機関で、先進国の専門家が小麦や稲の新しい品種を開発したことです。開発された品種が広がったことで、中南米の小麦の生産やアジアの米の生産が大きくなりました。一九四〇年代に始まったこれらの品種改良の動きは「C」と呼ばれました。

もう一つの技術的な国際協力には、農業生産をささえる農地の改良や農業用水の確保のための支援があります。こちらでも先進国で生み出された技術を途上国に伝えてきました。この分野で、日本がとくに力を発揮してきたのは、稲作の農業用水についての取り組みです。単に新しい設備を提供するだけでなく、農業用水路などをうまく利用するためにアドバイザーをあたえることも重要です。水田農業をめぐる技術の支援はアジアに向けたものが中心でしたが、近年はアフリカでも、日本の専門家が活躍しているのです。

技術面での協力について、もう一つつけ加えておきたいと思えます。それは食料の貯蔵や輸送の設備を整えるための技術協力です。日本のように道路や鉄道が発達していて、温度調節が可能な保管庫も利用できれば、いつても、どこでも、新鮮な食料が手に入ります。けれども、多くの途上国の場合、冷やして貯蔵することや、素早く運搬することもむずかしい状態なのです。その結果、せっかくの農産物がくさってしまつて、食べられなくなることもあるのです。

この章の前半では、食品ロスについてのお話をしましたね。そのときは、食品ロスを飽食の国、つまり豊かな先進国の問題として紹介しました。けれども、食べられるはずの食料が失われているという点では、食品ロスは途上国でも問題になっているのです。ただし、ロスが生じている理由は大きくちがいます。必要としている人々のもとへ、必要なタイミグでとどけられないことが原因なのです。輸送や貯蔵の手段を整えることは、食品ロスを減らすことで、途上国の食料問題の改善にも役立つはずです。

最後に、国際協力の第三のタイプを紹介することにしましょう。それは人材の養成、つまり人づくりです。さきほど、緑の革命による新品种が食料問題の改善に大きな役割を果たしたといいましたが、作物の品種をふくめて、地域の条件によって、農業に必要な技術が異なることも多いのです。国によって食べ物の好みにもちがいががあります。ある国では評判のよい品種であっても、別の国では人気がないこともあります。そもそも気象条件や地形によって、栽培そのものができないこともめずらしくありません。そこで大切になるのが、その国や地域について豊富な知識をもつ人々、つまり^⑧現地の出身者を専門家として育て上げることなのです。育て方には、いろいろななかたちがあるはずですが、中でも、先進国の専門家が、途上国の若者との交流を深めることが大切です。日本では、茨城県つくば市に本部がある、国際農林水産業研究センターの研究員などを中心に、アジアやアフリカで若手の研究者との交流をつづけてきました。

さらに、人材を育てる国際協力では、途上国からの留学生を受け入れて、日本で育てることに大きな意義があります。農業を

学ぶ大学院の場合、留学生の多くは途上国の出身者なのです。わたし自身も、バングラデシュやアフリカからの留学生を受け入れて、指導した経験があります。文化の異なる日本で苦労を重ねたわけですが、博士となって母国で活躍している知らせを聞くときほど、うれしいことはありません。

(生源寺眞一「いただきます」を考える

大切なごはんと田んぼの話)

※(注1) FAO＝国際連合食糧農業機関。国際連合の専門機関の一つで、食料と農林水産業の問題を担当する。

(注2) 食品ロス＝本来食べられるのに捨てられてしまう食品。

問1 — ①「表のデータ」とあるが、そこから読み取れることとして正しくないものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 栄養不足人口の割合は、先進国をひとすると、発展途上国は五十二になる。
- い 栄養不足人口は、合計ではアフリカよりもアジアのほうがはるかに多い。
- う ラテンアメリカの栄養不足人口は、先進国の栄養不足人口の一・八倍である。
- え 栄養不足人口の少ないオセアニアが、食に関しては先進国より豊かである。

問2 — ②「栄養不足人口」とあるが、筆者は、栄養不足の人が出てくる大きな理由をどのように考えているか。それを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、()内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出しなさい。

※(十三字)から。

問3 — ③「経済の成長によって世界の食料消費が増加することにも注意しなければなりません」とあるが、それはどうしてか。説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 経済が発展して所得が増えると世界の食料消費がさかになり、畜産のえさとして使われる穀物を生産している国で食料価格があがってしまう可能性があるから。
- い 世界の食料消費が増えることで食料の値上がり国境を越えて広がり、結果的にまししい人たちが十分に食べられなくなる可能性があるから。
- う 食料消費が増えると畜産がさかになり、肉や乳製品、卵などが高く売れるところに集中してしまうことで、十分に食べられない人が生まれる可能性があるから。
- え 世界の食料消費が増えると食料の値上がりが起こり、畜産のさかんな地域の経済だけが発展することで、貧富の差がひろがってしまう可能性があるから。

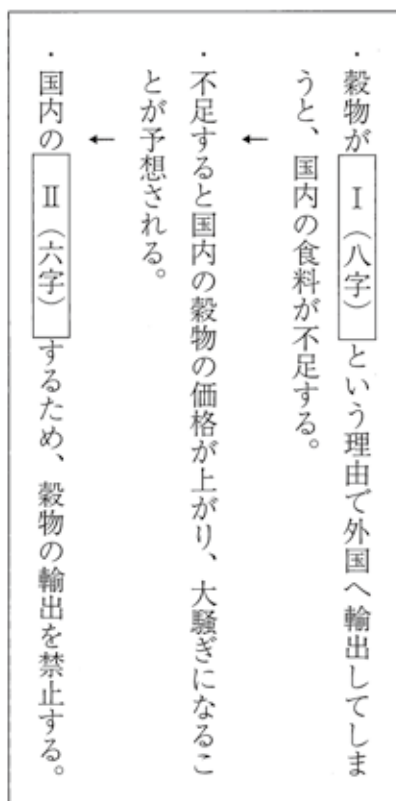
問4 [A]・[B]にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ A すると B けれども
 い A だから B つまり
 う A たとえば B ところで
 え A そのうえ B なぜなら

問5 — ④「その一つ」の具体的な内容の説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 栄養不足人口は、単に途上国だけの問題ではなく、先進国にも影響があると言える理由の一つ。
 い おうちの人に聞いてみたときに、教えてもらえるかもしれない、その当時の思い出話の中の一つ。
 う 外国での水不足や天候不順で生産が減ったこと以外の、穀物や大豆の価格が急上昇した原因の一つ。
 え 二〇〇六年一月とくらべて、価格が急上昇した小麦、トウモロコシ、米、大豆以外の穀物の一つ。

問6 — ⑤「輸出を禁止したのは、ふだんから食料の確保に苦労している人が多くくらす途上国だったので」とあるが、その理由を説明した次の図の [I]・[II] にあてはまる言葉、それぞれの()内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出しなさい。



問7 本文には、次の一文がぬけ落ちている。【あ】〜【お】のうち、どこにと戻すのが最も適切か。記号で答えなさい。

日本がそうでした。

問8 — ⑥ 「食料をめぐる国際協力をつづけることであり、強化すること」とあるが、そのための機関であるWFP(国際連合世界食糧計画)の説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ WFPは、船や飛行機などの輸送手段を使って、一万人以上の職員を途上国の現場に送っている。

い WFPは、途上国でひんぱんに起こる、緊急に食料支援を必要とする事態に対応するための機関である。

う WFPは、新しい設備の提供だけではなく、農業用水路などを利用するためにアドバイスもあたえている。

え WFPは、農業に従事する人材を育てる機関で、各国政府や個人からの基金によって運営されている。

問9 [C]にあてはまる最も適切な言葉を、本文中から四字でぬき出しなさい。

問10 — ⑦ 「必要としている人々のもとへ、必要なタイミングでとどけられないことが原因なのです」とあるが、その理由を説明した次の文の [I]・[II] にあてはまる言葉を、(一)内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出し、それぞれ最初の六字を書きなさい。

※ [I] (十一字) が未発達であるため、 [II] (二十一字) が困難であるから。

問11 — ⑧ 「現地の出身者を専門家として育て上げること」とあるが、それが必要とされる理由について、「技術」「食べ物」という二つの言葉を必ず使って、次の文の [] にあてはまるように、六十字以内で書きなさい。

※気象条件や地形によって、 [] から。

問12 次の①～④の各文について、本文の内容と照らしあわせて、正しければあを、間違っていればいを書きなさい。

① 世界の栄養不足人口は、その数も人口に占める割合も低下してきているが、FAOの二〇一八年の発表では、今後も段階的に低下していくだろうと予測されている。

② 栄養不足人口は、主に途上国の問題だと言うことができるが、途上国では経済発展が進まないことや政治的な混乱があることなどが、貧困問題を深刻にしている。

③ 食品ロスは、先進国でも途上国でも問題であるが、先進国と途上国とは原因が異なり、先進国の食品ロスを減らすためには技術面でのさらなる向上が不可欠である。

④ 先進国の専門家が、その国や地域について豊富な知識をもつ、途上国の若者を留学生として受け入れて育てることは、食料の国際協力として大きな意義がある。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある)
問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

六年生の宝田ほのかは、クラスメイトの武市陽太が大学の折り紙イベントに誘われているところに偶然、居合わせ、自分も一緒に参加することにした。当日、ほのかは、大学のキャンパスにやって来た。

いつの間にか、隣に武市がいた。

「これ」

武市は、挨拶もなく、まるく膨らんだ手提げ袋から、いきなり手品のようにカラフルなボールを取り出した。

「うっそー！」

それを見た瞬間、ほのかは叫んだ。すごいものだということが分かったからだ。

それは、紙だけでできていた。驚くほど複雑に、精巧に、幾枚もの紙を合わせて作り上げた、壊れやすく可愛らしいボールだった。

「すごいじゃん！ 武市が作ったの？」

ほのかは、武市の顔を見て、それから①自然と指を見た。少し小さくれた、短い爪。この指が、紙を丁寧に折り合わせていき、こんなに綺麗なボール玉を作ったのか。

武市は、ほのかに褒められても表情を変えず、むしろつまらなそうな口ぶりて、

「これ、自由工作に、出そうかな……」
と言った。

ほのかは、武市が絵や工作がとても上手なことを思い出した。
②毎年、武市の作品が選ばれて、職員玄関の前の展示の棚に飾られていることを。

「ゼッタイ出すべき！」

心から言った。

「超上手だし、こんなの誰も作れないもん」

明るい声で言いながら、うらはらに、③ほのかは自分の気持ち
が沈んでゆくのを感じた。

武市は、こうやって物を作るのが得意なんだと思った。物を作ることに、夢中になるんだなとも思った。自分にはそんなふう
に得意なものも、夢中になれるものも、なにもない。

ほのかは、このあいだの委員決めの学級会を思い出した。

④教壇に立ったとたんに、足が竦んだこと。ひと言も発せな
かったこと。

ずっと考えないようにしていたのに、なぜか今になって思い出
した。

「宝田さんも、作れる」

まるでほのかを慰めるように、武市は言った。

少しぼんやりしていたほのかは、

「え？ ほんと？ じゃあ作りたい」

と、わざと明るく言った。

「作れる」

武市はもう一度言った。

「どうやって作ればいいの。教えて」

「これ、三十四枚、折り紙を使う」

「……たくさん持ってきたよ」

ほのかは家にあつた折り紙を見せた。

それを見た武市は、今日いちばんの顔をした。目を輝かして、折り紙を見つめた。

「それだけあれば、作れる。けど、部品を糸で、糸でつなぐところが、少し難しい。そこだけ。針が紙を破くから、そこは、気をつけたら」

普段おとなしい武市が、懸命に説明をしてくれたのは嬉しかった。だけでもほのかは、武市の説明を聞いているうちに、やっぱりそんなに難しいものを自分には到底作れないと思った。

「……うちにできるかな。武市みたいに、上手じゃないし」

「宝田さんなら、なんでもできる」

「ええー、そんなことないよ。うち、バカだし」

ほのかは笑った。

武市は笑わなかった。

「宝田さんは、なんでもできる」

ほのかに言い聞かせるように、彼はA 繰り返し返した。

それを言われた時、なぜだかほのかは、泣きたくなった。

どうして泣きたくなるのか分からなくて混乱した。

本当は、自分のできることなど、何もないような気がしていた。周りの人たちからもそう思われていることを、彼女は知っていた。そしてそのことを、心のどこかで受け入れてきた。

代表委員に立候補した時も、皆に笑われているのを知っていた。前田さんは、ほのかが代表委員になることを「やだ」と言った。

それを聞いて笑った人たちも、みんな「やだ」と思っていたのかもしれない。

⑥ だけどほのかは、ずっと、なりたかったのだ。なりたかった。

なりたかった。六年生の最後の委員決めだった。最後まで手を挙げ続けた。

それなのに、いざ代表委員になって、教壇に立ったら、足が竦んだ。

何か喋ってしまったら、その言葉はほとんど落ちて、教室の真ん中で、皆に踏みつけにされると思った。そうなるのはいつものことで、これまではそんなことはちっとも怖くなかったのに、代表委員になってしまったから、怖くなったのだ。クラスの代表である自分が、そんな恥ずかしいことはできないと思ったから。うまくやろうと思ったとたん、ほのかの舌はこわばった。代表委員として初めて芽生えたプライドが、かえって心を縮こまらせた。あの時の自分は、みっともなかった。

だけど、

——宝田さんは、なんでもできる。

武市は言ってくれた。

こみ上げてきた涙を目の奥に押しこむように、ほのかは細かくまばたきをする。言われたばかりの言葉を、心の奥で反芻する。こんなに信じてもらえたこと、自分をまるごと認めてもらえたこと。目の前の少年のまなざしは澄んでいる。彼の言葉に嘘はない。それが分かるから、ほのかは泣きたくなるのだ。

折り紙探検隊は最高に楽しい時間だった。

ゾウを作るコースと、ネズミを作るコースがあつて、ほのかはネズミのコースを選んだが、かわいらしい小さなネズミは、簡単に作れそうに見えて、折り始めたら意外に複雑だった。

ほのかは何度も分からなくなってパニックを起こしかけたが、

途中でつまずくたび、武市が手伝いに来てくれた。

どの部分のつまずきからでも、武市はすぐに状況を把握し、的確に解決してくれた。そして、工程表と同じ形、同じ向きにして、「ここから」とほのかに差し出した。それはもう、魔法のように

B、武市はほのかの混乱を次々に修復してくれた。

ほのかは武市に言われたとおりにそこからもう一度やり直すのだが、すぐにおかしくしてしまう。武市は、何度ほのかがつまずいても、飽きることなく淡々と正しい形に戻してくれるのだった。

ようやくネズミができあがった時、ほのかはもちろんと嬉しかったのだが、それよりも、何よりも、武市がああの子頭の大学生をはじめとする数人のメンバーから口々に褒められて、

「君、折り紙探検隊の正式メンバーな」

と言われた時が、一番嬉しかった。

折り紙探検隊の大学生たちは武市を、遊びに来た小学生ではなく、折り紙の仲間として認めたのだ。

そのことが、ほのかは嬉しかった。

だから、帰り際、ほのかは持ってきた折り紙の残りを全部武市にあげることにした。

すると武市は、

「なんて」

と訊いた。

「なんて？」

笑顔を見せない、人によって態度を変えることのない武市の、大学生と話している時の頬が薔薇色に染まっているのを見た時、ほのかは、自分が持ってきた折り紙を、全部武市にあげたと思った。でも、その気持ちを説明することは難しく、ほ

のかはただひと言、

「いらぬから」

とだけ、言った。

「いらぬ？」

確認するように、武市は言った。

「うん。いらぬ」

ほのかは答えた。

遠慮なく受け取ってもらいたいからそう言ったのに、目の前の顔は暗く沈んだ。ほのかは、武市が喜んでくれないことを不思議に思った。

しかし次の言葉で、その理由が分かった。

「宝田さんは、折り紙、もうやらないのか」

と、武市は言った。

自分が好きなことを、ほのかにも好きになってもらいたいと、武市は思ってくれている。そう気づいた時、ほのかの心の中に温かいものが流れこんだ。

「じゃあ、半分こしよ。そいで武市、うちに時々、教えてくれる？」

ほのかが言うと、武市は、

「わかった」

と、答えた。

ほのかは折り紙を、半分ずつに分けた。武市は、ほのかからももらった折り紙を、礼も言わずに受け取ると、宝物のボールや、今日綿菓子頭の大学生からもらった折り紙の説明書のようなプリントの入っている手提げ袋に、そっと仕舞った。そして、真面目そうな顔つきで、

「ゾウは少しむずかしい。最初は、カモノハシがいいかもしれない」

と、言った。
押し入れの中でただ眠っていただけの折り紙が、武市の手で、きつとこれから、ネズミやゾウやカモノハシや他の色々なものに生まれ変わっていくのだ。

「武市。絶対だよ。折り紙、するよ。一緒に」
友達との約束が、世界を明るくしてくれる。

武市と別れて、ほのかは走った。

急に、走りたい気分になったのだ。暮れてゆく道を、ほのかは走り続けた。そして、あの石畳の道で立ち止まり、いつもの決まりが頭を過ったにもかかわらず、まるで何らかの確信があるかのように、ほのかは一步を踏み出していた。

自分でも驚くことに、一步、また一步と、ほのかの足は軽やかに前を目指した。

何かが自分を見ているのかもしれない。でも、その何かは、見守ってくれているのかもしれない。

気づいた時、ほのかはもう足元を見ていなかった。石の色など関係なく、ただまっすぐ道の先の遠くに目をやっていた。

——宝田さんは、なんでもできる。

歩くごとに、**C**、勇ましい気持ちが生まれてゆく。仄かな光のように、自信の芽が上を向く。悪いことが起こる決まりなんか、どこにもない。好きなどころを好きなように歩いているのだ。そのことを、早くみちるに教えたいと思いつながら、ほのかは前進し続けた。

(朝比奈あすか「君たちは今が世界」)

※(注1) 反芻する＝繰り返して考え、よく味わうこと。

(注2) カモノハシ＝湖や河川に生息する動物。鳥のようなくちばしと水掻きを持つ。

(注3) いつもの決まり＝ほのかとみちるは、横断歩道の白い所だけを歩かないと何か悪いことが起こると信じ、この決まりを守っていた。

(注4) みちる＝ほのかの妹。

問1 — ①「自然と指を見た」とあるが、その理由として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 武市が突然話しかけてきたため緊張してしまったから。

い どの手がこんなすごい作品を作ったのか興味があったから。

う ポール玉を手提げ袋から出した手品に関心があったから。

え 武市の、少し小さくくれた短い爪が目に入ってきたから。

問2 — ②「毎年、武市の作品が選ばれて、職員玄関の前の展示の棚に飾られていることを」とあるが、この言葉のあとに

言葉を補うとすれば、どのような言葉が適切か。本文中から、六字以内でぬき出しなさい。

問3 — ③「ほのかは自分の気持ちに沈んでゆくを感じた」とあるが、その理由として最も適切なものを後から選び、記

号で答えなさい。

あ 武市の作った綺麗なポール玉を自分がいくら褒めても、武

市は嬉しそうな顔をしなかったから。

い 武市の作ったポール玉を褒める自分の明るい声が、この場

では浮いていると感じられたから。

う 武市とは違って、自分には得意なものも、夢中になれるもの

も、なにもないと思ったから。

え 武市と話している間も、このあいだの委員決めの学級会の

ことが頭から離れなかったから。

問4 — ④「ひと言も発せなかったこと」とあるが、「ほのか」

は、代表委員として教壇に立った自分が、ひと言も発せなかった理由をどのように思っているか。それについて説明した次の文の□にあてはまる言葉を、()内の字数指定にしたがって本文中からぬき出し、最初の六字を書きなさい。

※自分はクラスの代表であるという(十八字)から。

問5 □A・□B・□Cにあてはまる言葉として最も適切

なものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

あ らくらくと い せかせかと

う きびきびと え ゆっくりと

お じわじわと か むくむくと

問6 — ⑤「なぜだかほのかは、泣きたくなった」とあるが、このときのほのかの気持ちを説明したものとして最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 武市は自分のことよりも、自分が武市に見せた折り紙の方に関心があるのだとわかって、悲しんでいる。

い 武市の言葉は、武市の本心から出たものであり、言葉に嘘はないことがわかって、嬉しく思っている。

う 武市の言葉は、自分にもあの綺麗なボール玉が作れると勇気づけているのだと感じ、心強くなっている。

え 武市は自分をこんなにも信じてくれているのに、武市の期待に添え^そうもないことを、申し訳なく思っている。

問7 — ⑥「だけどほのかは、ずっと、なりたかったのだ。なりたかった。なりたかった」とあるが、この表現がもたらす効果の説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 「なりたかった」という表現を重ねること、代表委員の仕事がいかに重要で、大変であるかを印象づけている。

い 「なりたかった」という表現を重ねること、代表委員になりたかったほのかへの反対が多かったことを表している。

う 「なりたかった」という表現を重ねること、あれほどなりたかったのに今は、という心境の変化を暗示している。

え 「なりたかった」という表現を重ねること、代表委員になりたいと願った、ほのかの思いの強さを表現している。

問8 — ⑦「君、折り紙探検隊の正式メンバーな」とあるが、折り紙探検隊のメンバーが武市にこのように言った理由として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 武市の作り上げた作品があまりにも見事であったから。

い 武市の「ほのか」への対応がとてもやさしかったから。

う 武市が探検隊にとってもなじんでいる様子であったから。

え 武市の折り紙修復の仕方があまりにも的確であったから。

問9 — ⑧「その気持ち」について説明した次の文の I Ⅱ にあてはまる言葉を、() 内の字数指定にしたがって、本文中からぬき出し、それぞれ最初の六字を書きなさい。

※大学生たちが武市を I (十二字) ことや、それを聞いた

武市が嬉しそうにしている顔を見ることができたことが、

Ⅱ (十四字) と思うくらい、ほのかには嬉しかったのだ
ということ。

問10 — ⑨「目の前の顔は暗く沈んだ」とあるが、このときの

武市の気持ちを説明したものと最も適切なものを後から
選び、記号で答えなさい。

- あ せっかく手取り足取り教えてあげたのに、いらない折り紙
をおしつけてくる「ほのか」に腹を立てている。
い 今日のイベントを「ほのか」はあまり楽しめなかったのだ
と知って、自分の教え方のせいだと責任を感じている。
う 折り紙をいらぬという発言を受けて、「ほのか」は折り
紙をやらないのだと思い、がっかりしている。
え 「ほのか」が折り紙を好きになってくれるようがんばった
努力がむだだったとわかって悲しくなっている。

問11 武市の人物像の説明として最も適切なものを後から選び、
記号で答えなさい。

- あ おとなしくて笑うことも少ないが、相手のことを思いやり
根気強く人と接することのできる実直な人物。
い 手先が器用で、自分の好きなことには夢中になるが、興味
のないことには手を出さない消極的な人物。
う 人によって態度を変えることはなく、大学生たちとも対等
に向き合いたいと思っている、自信満々な人物。
え 気配りのできるやさしい性格ではあるが、相手の言葉や行
動に対する思いが表情に出てくる感情的な人物。

問12 あるクラスで、国語の時間に本文の内容について話し合っ

た。次に示すのは、本文に登場する「ほのか」の心情の変化
について話し合っている横山さんたちの様子である。本文の
内容をふまえて、X・Y・X・Y・Z にあてはまる言葉
を、X・Y はそれぞれの()内の字数指定にした
がって本文中からぬき出し、Z は後から選び、記号で答
えなさい。

横山 ほのかは、どんな人物だと思う？
大谷 自分に自信の持てない子ではないかな。ほのかは、
X(十五字) Z と思っていたことが書かれているよ
ね。

中川 うん。それが物語の途中から変わってきたよね。

寺田 きっかけは、武市の言葉かな。

横山 そうだね。自分のあげた折り紙が武市の手で色々な
ものに生まれ変わっていく、とほのかはわくわくして
いるけれど、これ、ほのか自身の変化も暗示してい
るかもしれないね。

大谷 たしかに。ほのかは自分の気持ちの変化に、自分で
も驚いているもんね。

中川 歩くごとに Y(九字) Z とも書かれているよ。

寺田 武市と話して、Z からかな。

中川 そうだと思うよ。

- あ 本気でやりたいと思えるものが見つかった
- い 代表委員に立候補してよかったと思えた
- う 自分をまるごと認め信じてもらった
- え 自分は何にでもなれると気づいた

【三】 次の各問いに答えなさい。

問1 次の——線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- ① フクシヨウとして文具をもらった。
- ② 祖母は、ケンザイです。
- ③ 社長職をシリゾク。
- ④ 祭りの仮装行列を見る。
- ⑤ 二百メートル背泳の決勝。
- ⑥ 太陽の光を浴びる。

問2 次の熟語のうち、①・②は同義語（意味が同じ言葉）、③・④は対義語（意味が反対の言葉）を後のカタカナから選び、漢字に直して答えなさい。

- ① 気品
- ② 賛成
- ③ 集合
- ④ 移動

イケン	テンソウ	シジ	ケツシユウ
コテイ	フウカク	カイサン	ジヨウトウ

四 次の各問いに答えなさい。

問1 にあてはまる漢字一字を書き、ことわざを完成させなさい。また、そのことわざの意味に近い言葉を後から選び、記号で答えなさい。

- ① の耳に念仏
② に竹をつぐ

あ 感動 い 無意味 う 尊敬
え 不自然 お 現実 か 向上心

問2 次の①～④の四字熟語のにあてはまる数字を足していくと、合計はいくつになるか。その数字を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 方美人 ② 三寒温
③ 一石鳥 ④ 十人色

あ 18 い 21
う 24 え 27

問3 次の文中のが直接かかる言葉をそれぞれあ～きから選び、記号で答えなさい。

- ① 遠くに あポツンと い小さく う見える え白い
② お船は、 か北海道行きの きフェリーだ。
③ あ祖父の い集めた 貴重なもの う古い え焼き物を
④ お使って、 かお茶を き飲んだ。

問4 次の①～⑤の各文について、日本語として正しければあを、間違っていればいを書きなさい。

- ① 先生、私は話題の新刊を買って拝読しました。
② ごみの分別は、SDGsに貢献したいと思います。
③ 重要な会議に遅れ、社長から大目玉を食った。
④ 社長のお言葉を他山の石としてがんばります。
⑤ 次期役員として、山田さんに白羽の矢が立った。

以上で問題は終わりです。

2023年度 入試向け
桃山学院中学校 プレテスト第2回 問題

算 数

【50分・150点】

注 意 事 項

- 1 問題は1ページから5ページまであります。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 円周率は、3.14とします。
- 4 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 5 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入しなさい。
- 6 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 7 「終了」の合図で鉛筆を置き、監督の先生の指示に従いなさい。

	受 験 番 号	名 前
P		

1 次の にあてはまる数を答えなさい。

(1) $994 \div 7 - 2 \times (63 - 57 \div 3) = \text{$

(2) $456 \times 123 - 456 \times 23 = \text{$

(3) $1.25 - \left(\frac{5}{9} \times 0.6 + 0.875 \div \text{$ $\right) = \frac{1}{12}$

(4) $(450\text{mL} - 2.3\text{dL}) \times 3 + 0.44\text{L} = \text{$ mL

2 次の問いに答えなさい。

(1) ある学年の 240 人の児童がめがねをかけているかどうかを調べて円グラフにすると、めがねをかけている人数を表す部分の中心の角度は 132 度になりました。めがねをかけている児童は何人ですか。

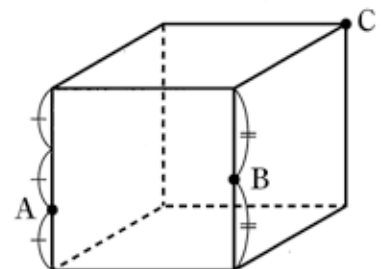
(2) たてが 600m, 横が 750m の長方形の形をした土地の周囲の長さは、縮尺が $\frac{1}{50000}$ の地図上では何 cm ですか。

(3) 98 でわると商とあまりが同じ整数になる 3 けたの整数で最も大きい数はいくつですか。

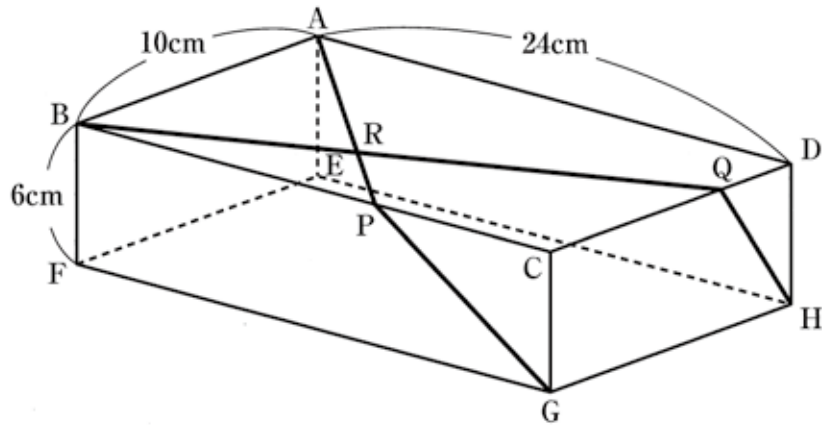
(4) 1 組から 3 組までの 3 つのクラスで、1 つのクラスにつき 2 つずつサッカーのチームを作り、全 6 チームで試合をします。どのチームも自分のクラス以外のすべてのチームと 1 回ずつ対戦するとき、全部で何試合ありますか。

(5) 内角の和が 1260 度の多角形の辺の数は何本ですか。

(6) 1 辺が 12cm の立方体を右の図のように、辺を 3 等分する点の 1 つ A, 2 等分する点 B, 頂点 C の 3 つの点を通る平面で切り取ったときにできる大きいほうの立体の体積は何 cm^3 ですか。

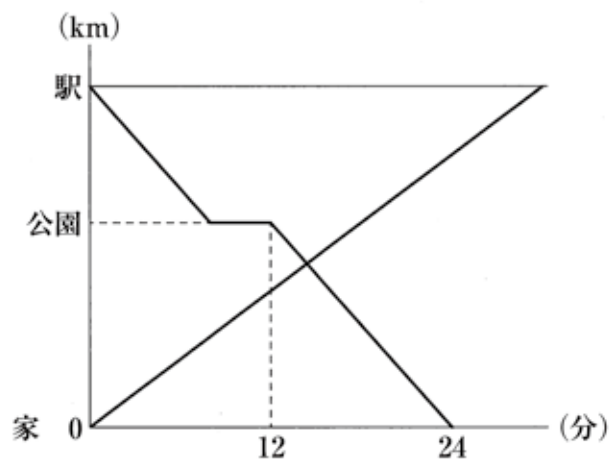


- 3** 図のような直方体の辺 BC 上に $AP+PG$ の長さが最小になる点 P, 辺 CD 上に $BQ+QH$ の長さが最小になる点 Q をとり, AP と BQ が交わった点を R とします。このとき, 次の問いに答えなさい。



- (1) BP の長さは何 cm ですか。
- (2) $BR : RQ : QH$ を答えなさい。
- (3) 四角形 ADQR の面積は何 cm^2 ですか。

- 4 家から駅までの道の途中に公園があります。駅から家に向かって兄が、家から駅に向かって弟が同時に出発しました。兄は時速 6km の速さで歩き、公園で4分間休けいした後ふたたび同じ速さで公園を出発し家まで歩きました。弟は家から駅まで一定の速さで歩いたところ、公園を通過したのは兄が公園を出発した6分後でした。下のグラフは、2人が出発してからの時間を横軸に、家からの道のりをたて軸にして、進んだ様子を表したものです。このとき、次の問いに答えなさい。



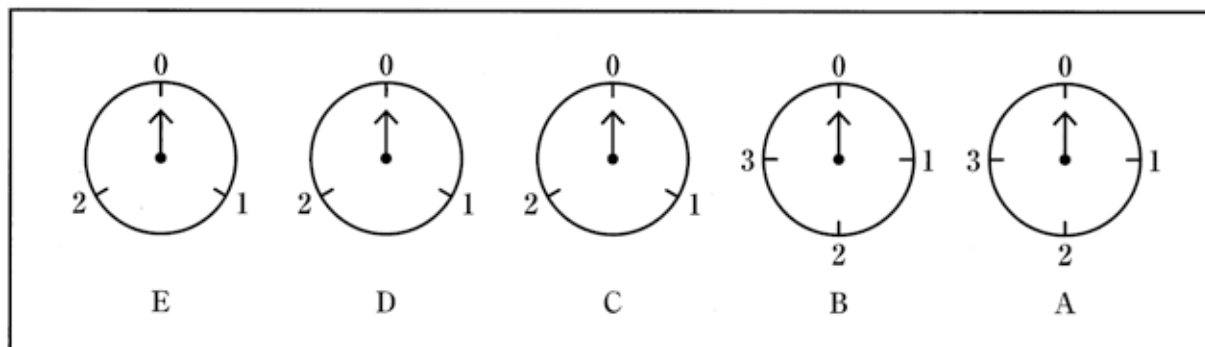
- (1) 家から駅までの道のりは何 km ですか。
- (2) 弟が駅に着いたのは出発してから何分後ですか。
- (3) 2人がすれちがったのは、家から何 m の場所ですか。

5 容積が 240L の水そうに水がいっぱいに入っています。この水そうに水道のじゃ口から一定の割合で水を入れながら、ポンプ 3 台を使って水をくみ出すと 8 分後に水そうに入った水の量が半分になり、そこからポンプを 1 台増やして 4 台にすると 5 分後に水そうが空になり、ポンプでくみ出すのをやめました。次の問いに答えなさい。

(1) ポンプ 1 台は毎分何 L の水をくみ出しますか。

(2) 水そうがふたたび水でいっぱいになるのは、ポンプでくみ出すのをやめてから何分後ですか。

6 下の図のように、A から E の器具のついた箱があります。



はじめはすべての針が0の目盛りを指していて、箱にボールを1個入れるごとにAが1目盛り進み、Aが1回転するとBが1目盛り進みます。さらに、Bが1回転するとCが1目盛り進み、Cが1回転するとDが1目盛り進み、Dが1回転するとEが1目盛り進みます。すべての針がふたたび0の目盛りを指す前に、箱はボールでいっぱいになります。次の問いに答えなさい。

- (1) Dの針は、箱にボールを何個入れると1目盛り進みますか。
- (2) この箱に190個のボールを入れると、AからEの針が指す目盛りの数字はそれぞれいくつですか。
- (3) この箱に15個ずつボールを入れると、何度目かで箱はボールでちょうどいっぱいになり、それぞれの針はAが1, Cが0, Eが2を指していました。この箱にはボールが何個入りますか。

以上で問題は終わりです。

2023年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回

解答と配点

目次

解答

1 国語 (50分・150点) P. 1

2 算数 (50分・150点) P. 1

配点 P. 2

解 答

国 語

- 一 問1 え 問2 十分な食料を買うお金がない
問3 い 問4 あ 問5 う
問6 I 高い価格で売れる II 消費者を優先 問7 【う】
問8 い 問9 緑の革命
問10 I 食料の貯蔵や II 冷やして貯蔵
問11(例) 農業に必要な技術が異なり、食べ物の好みにもちがいがあるので、その国
や地域について豊富な知識をもつ人々が大切になる [56字]
問12 ① い ② あ ③ い ④ あ
- 二 問1 い 問2 思い出した 問3 う
問4 プライドが、 問5 A え B あ C か
問6 い 問7 え 問8 え
問9 I 折り紙の仲間 II 折り紙を、全 問10 う 問11 あ
問12 X 自分にできることなど、何もない Y 自信の芽が上を向く Z う
- 三 問1 ① 副賞 ② 健在 ③ 退(く)
④ かそう ⑤ はいえい ⑥ あ(びる)
問2 ① 風格 ② 支持 ③ 解散 ④ 固定
- 四 問1 ① 馬・い ② 木・え 問2 う
問3 ① う ② え
問4 ① い ② い ③ あ ④ い ⑤ あ

算 数

- 1 (1) 54 (2) 45600 (3) $\frac{21}{20}$ (4) 1100
- 2 (1) 88人 (2) 5.4cm (3) 990 (4) 12試合
(5) 9本 (6) 1152cm^3
- 3 (1) 15cm (2) 5:7:3 (3) 94cm^2
- 4 (1) 2km (2) 30分後 (3) 960m
- 5 (1) 9L (2) 20分後
- 6 (1) 48個 (2) A2, B3, C2, D0, E1 (3) 345個

配 点

国 語

一 問1…4点
問4…2点
問7…2点
問10…各3点

問2…4点
問5…4点
問8…4点
問11…6点

問3…4点
問6…各3点
問9…4点
問12…各2点

合計 54点

二 問1…4点
問4…4点
問7…4点
問10…4点

問2…2点
問5…各2点
問8…4点
問11…4点

問3…4点
問6…4点
問9…各2点
問12…各4点

合計 56点

三 各2点

合計 20点

四 各2点 (問1各完答)

合計 20点

算 数

1 各8点
2 各8点
3 各6点
4 各6点
5 各8点
6 各6点

合計 32点

合計 48点

合計 18点

合計 18点

合計 16点

合計 18点

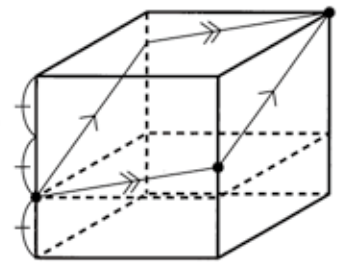
2023年度入試向け プレテスト第2回
解説

1 計算問題

- (1) $994 \div 7 - 2 \times (63 - 57 \div 3) = 142 - 2 \times (63 - 19) = 142 - 2 \times 44 = 142 - 88 = 54$
- (2) $456 \times 123 - 456 \times 23 = 456 \times (123 - 23) = 456 \times 100 = 45600$
- (3) $\frac{5}{9} \times 0.6 + 0.875 \div \square = 1.25 - \frac{1}{12} = \frac{7}{6}$
 $0.875 \div \square = \frac{7}{6} - \frac{5}{9} \times 0.6 = \frac{5}{6}, \square = 0.875 \div \frac{5}{6} = \frac{21}{20}$
- (4) $(450\text{mL} - 2.3\text{dL}) \times 3 + 0.44\text{L} = (450\text{mL} - 230\text{mL}) \times 3 + 440\text{mL}$
 $= 220\text{mL} \times 3 + 440\text{mL} = 660\text{mL} + 440\text{mL} = 1100\text{mL}$

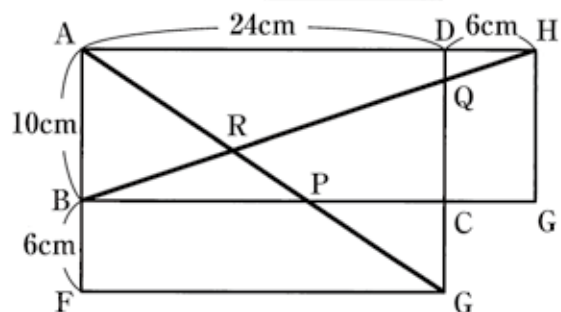
2 小問集合

- (1) めがねをかけている人数を表す部分の中心の角度は 132 度より、割合は $\frac{132}{360} = \frac{11}{30}$
 よって、 $240 \times \frac{11}{30} = 88$ (人)
- (2) 実際のたて 600m = 60000cm と横 750m = 75000cm の地図上での長さは、
 $60000 \times \frac{1}{50000} = 1.2$ (cm), $75000 \times \frac{1}{50000} = 1.5$ (cm) なので、地図上での周囲の長さは、
 $2 \times (1.2 + 1.5) = 5.4$ (cm)
- (3) $\square \div 98 = \triangle$ あまり \triangle だから、 $\square = 98 \times \triangle + \triangle = 99 \times \triangle$ より、99 の倍数で最も大きい 3 けたの整数は、 $99 \times 10 = 990$
- (4) $2 \times 3 = 6$ (チーム) が自分のクラス以外の、 $2 \times 2 = 4$ (チーム) と 1 回ずつ試合をするから 1 試合につき 2 チームずつ試合が消化されることを考えて、 $6 \times 4 \div 2 = 12$ (試合)
- (5) $1260 \div 180 + 2 = 9$ より、九角形だから辺の数は 9 本
- (6) 高さ、 $12 \div 3 = 4$ (cm) より、上の部分は切り口の平面によって 2 等分される。 $12 \times 12 \times 4 + 12 \times 12 \times (12 - 4) \div 2 = 1152$ (cm^3)



3 立体の展開図と拡大・縮小

- (1) 展開図を考えると、折れ線 APG と BQH は直線で表される。三角形 ABP と三角形 AFG は拡大・縮小の関係で、 $BP : FG = AB : AF = 10 : 16 = 5 : 8$ だから、 $BP = 24 \times \frac{5}{8} = 15$ (cm)
- (2) 三角形 BPR と三角形 HAR は拡大・縮小の関係で、 $BR : HR = BP : HA = 15 : 30 = 1 : 2$
 三角形 BCQ と三角形 HDQ は拡大・縮小の関係で、 $BQ : HQ = BC : HD = 24 : 6 = 4 : 1$



BH をもとにすると、 $BR = \frac{1}{1+2} = \frac{1}{3}, QH = \frac{1}{4+1} = \frac{1}{5}, RQ = 1 - \frac{1}{3} - \frac{1}{5} = \frac{7}{15}$

$$BR : RQ : QH = \frac{1}{3} : \frac{7}{15} : \frac{1}{5} = 5 : 7 : 3$$

- (3) 三角形 ABH と三角形 ARH の面積の比は、 $BH : RH = 3 : 2$ だから、三角形 ARH の面積は、 $30 \times 10 \div 2 \times \frac{2}{3} = 100(\text{cm}^2)$ 三角形 DQH と三角形 ABH は拡大・縮小の関係で、 $DQ : AB = DH : AH = 6 : 30 = 1 : 5$ だから、 $DQ = 10 \times \frac{1}{5} = 2(\text{cm})$
 三角形 DQH の面積は、 $6 \times 2 \div 2 = 6(\text{cm}^2)$ 四角形 ADQR の面積は、 $100 - 6 = 94(\text{cm}^2)$

4 速さのグラフ

- (1) 時速 6km の兄が、 $24 - 4 = 20(\text{分})$ 歩く道のりだから、 $6 \times \frac{20}{60} = 2(\text{km})$
 (2) 公園から家まで兄は、 $24 - 12 = 12(\text{分})$ で歩くから道のりは、 $6 \times \frac{12}{60} = \frac{6}{5}(\text{km})$
 弟はこの道のりを、 $12 + 6 = 18(\text{分})$ で進むから時速は、 $\frac{6}{5} \div \frac{18}{60} = 4(\text{km})$
 弟が家から駅まで 2km 歩くのにかかる時間は、 $2 \div 4 = \frac{1}{2}(\text{時間})$ $60 \times \frac{1}{2} = 30(\text{分後})$
 (3) 12 分後の弟の場所は家から、 $4 \times \frac{12}{60} = \frac{4}{5}(\text{km})$ このときの 2 人の間の道のりは、 $\frac{6}{5} - \frac{4}{5} = \frac{2}{5}(\text{km})$
 ここから兄弟が向かい合って進み、すれちがうのにかかる時間は、 $\frac{2}{5} \div (6 + 4) = \frac{1}{25}(\text{時間})$
 この場所は家から、 $\frac{4}{5} + 4 \times \frac{1}{25} = \frac{24}{25}(\text{km})$ $\frac{24}{25} \times 1000 = 960(\text{m})$

5 割合と比

- (1) ポンプ 3 台を使った 8 分間に毎分、 $240 \div 2 \div 8 = 15(\text{L})$ 、ポンプ 4 台を使った 5 分間に毎分、 $240 \div 2 \div 5 = 24(\text{L})$ の水が減っているからポンプの差、 $4 - 3 = 1(\text{台})$ が毎分、 $24 - 15 = 9(\text{L})$ くみ出す。
 (2) ジャ口から入る水は毎分、 $9 \times 3 - 15 = 12(\text{L})$ 240L の水そうを水でいっぱいにするのにかかる時間は、 $240 \div 12 = 20(\text{分})$ より、ポンプでくみ出すのをやめてから 20 分後。

6 整数の性質

- (1) 4 個入れるごとに A が 4 目盛り進み 1 回転して B が 1 目盛り進む。 $4 \times 4 = 16(\text{個})$ 入れるごとに B が 4 目盛り進み 1 回転して C が 1 目盛り進むから、D が 1 目盛り進むのに入れるボールの数は、 $16 \times 3 = 48(\text{個})$
 (2) A は、 $190 \div 4 = 47$ あまり 2 より、47 回転と 2 目盛り進み、針は 2 を指す。
 $47 \div 4 = 11$ あまり 3 より、B は 3、 $11 \div 3 = 3$ あまり 2 より、C は 2、 $3 \div 3 = 1$ あまり 0 より、D は 0 で E は 1 を指す。
 (3) A、C、E の針がそれぞれ 1、0、2 の目盛りを指すような最も少ないボールの個数は、B と D の針が 0 の目盛りを指すときの $144 \times 2 + 1 = 289(\text{個})$ 。 $144 \times 3 = 432$ だから、432 個以上だと E の針は 0 の目盛りを指す。そこで、289 以上 432 未満の 15 の倍数で、A の針が 1 の目盛りを指すように 4 で割ると 1 あまるものを探すと、345 と 405 がある。 $345 \div 16 = 21$ あまり 9 だから、C の針はちょうど 7 回転して 0 の目盛りを指すが、 $405 \div 16 = 25$ あまり 5 だから、C の針は 8 回転と 1 目盛り動いて 1 の目盛りを指す。よって、箱に入るボールは 345 個。

■ 説明的文章

- 問 1 表の内容理解の問題です。「正しくないもの」を答えることに注意します。えの内容は表からは読み取れません。表によると先進国の栄養不足人口数は 1500 万人、オセアニアの栄養不足人口数は 100 万人と先進国よりも少ないことは読み取れますが、栄養不足人口数が少ないからと言って「食に関しては先進国より豊かである」かどうかはわかりません。そのため、えが正解です。あは発展途上国の栄養不足人口数は先進国の五十二倍だという意味です。表によると先進国の栄養不足人口数は 1500 万人、これを五十二倍すると 7 億 8000 万人で表の発展途上国の栄養不足人口数と一致します。表から読み取れることとして正しいため、解答としては不適切です。いのアフリカの栄養不足人口の合計は 2 億 2400 万人、アジアの栄養不足人口の合計は 5 億 1200 万人になります。アジアはアフリカの二倍以上なので、「はるかに多い」という内容は正しいため、解答としては不適切です。うの先進国の栄養不足人口である 1500 万人を一・八倍すると 2700 万人となり、ラテンアメリカの栄養不足人口と一致します。表から読み取れることとして正しいため、解答としては不適切です。
- 問 2 内容理解の問題です。設問文に「栄養不足の人が出てくる大きな理由を……」とあります。表の直前の文に「栄養不足の大きな原因は」とあるので、このあとの部分に着目します。「十分な食料を買うお金がないことだから」とあり、この中で指定字数の十三字で「……から。」につながる箇所は「十分な食料を買うお金がない」（から。）です。
- 問 3 内容理解の問題です。——③の直後の段落からその理由が説明されています。肉や乳製品、卵の消費量が増え、畜産のために穀物の消費も増え、食料の価格が国境を越えて上がる結果、まずしい人たちが十分に食べられなくなる可能性がある、という理由です。いにはその内容がまとめられているので正解です。あは「穀物を生産している国で」という部分が「国境を越えて広がり」と矛盾するため、不適切です。うは「肉や乳製品、卵」の不均等供給を理由としているので不適切です。えは「畜産のさかんな地域の経済だけが発展すること」が、「貧富の差がひろがってしまう」理由ではないので不適切です。
- 問 4 接続語の問題です。まず、の前には原因、あとにはその結果が書かれています。原因と結果をつなぐ接続語の「すると」「だから」などがあてはまります。の前には「価格は上がらないかもしれません」という「明るい見通し」が書かれています。あとには「あまい見通しはさけたほうがよい」という反対の内容が書かれています。前の内容と逆の内容が続く接続語は「しかし」「けれども」などです。したがって、あが正解となります。ちなみに、いの B の「つまり」は、接続語の前の内容を接続語のあとで言い換える働き、うの A の「たとえば」は、接続語の前の内容の具体例を接続語のあとで説明する働き、うの B の「ところで」は、接続語の前の内容とは違う話題を、接続語のあとに続ける働き、えの A の

「そのうえ」は、接続語の前の内容に付け足す内容を接続語のあとに続ける働き、えのBの「なぜなら」は、接続語の前の内容の理由を、接続語のあとで説明する働きがあります。

問5 内容理解の問題です。指示語の指す内容を本文中から探します。指示語の指す内容は、原則として指示語の前にあります。直前に「きっかけは、オーストラリアの水不足やヨーロッパの天候不順によって生産が減ったことでしたが、ほかにもいくつかの理由が重なったのです」とあります。「その一つ」とは「いくつかの理由」のうちの「一つ」です。何の「きっかけ」かということ、その段落の初めに書いてある「穀物や大豆の価格が急上昇」した「きっかけ」です。したがって、うが正解です。

問6 内容を理解し、まとめた文の空欄にあてはまる語をぬき出す問題です。——⑤の段落の最後に「なぜだかわかりますか」とあり、そのあとの段落で理由を説明しています。【I】には「穀物が」「外国へ輸出」される理由が入ります。段落の最初の行に「もし高い価格で売れることで外国へ輸出してしまうと」とあることに着目してぬき出します。【II】は前後の言葉から、「穀物の輸出を禁止する」理由が「国内の」何かにあることがわかります。【あ】の直前の「輸出を禁止することで、国内の消費者を優先した」という部分に着目してぬき出します。

問7 ぬけている文を本文に戻す問題です。それぞれの文のつながりを確認し、不足している部分がないか探します。

【う】の前は「……に輸入している国でした」で、あとは「同じように……韓国や台湾でも」となっています。このままでは、「韓国や台湾」がどの国と「同じように」なのかがわかりません。ここにぬけている「日本がそうでした」という文を入れると、「韓国や台湾でも」「日本」と「同じように」「似た状況になりました」とうまくつながります。また、ぬけている文である「日本がそうでした」には、「そう」という指示語があるので、「そう」の内容が書かれている文の後に戻すという考え方もできます。

【あ】の前の内容は「輸出を禁止することで、国内の消費者を優先した」で、日本ではそうではないので不適切です。

【い】の前の内容は「品物が足りなくなり、さらに価格はぐんと上がってしまった」で日本でもそうなったので一見あてはまるように見えます。けれども、【い】のあとの「その影響」の「その」の内容は、「品物が足りなくなり、さらに価格はぐんと上がってしまった」であって、「日本がそうでした」ではないため、【い】にぬけている文を戻すのは不適切です。

【う】の前の内容は「穀物や大豆を大量に輸入している国」で、日本はそうです。あとのつながりがうまくいくのは、先に確認しましたので、【う】が正解です。

【え】の前の内容は「韓国や台湾でも似た状況になりました」で、日本もそうですが、その場合は「日本もそうでした」でないとなつながりが不自然なので、【え】にぬけている文を戻すのは不適切です。【お】も【え】と同様の理由で不適切です。

- 問8 内容理解の問題です。WFPの説明は2ページ下段の後半部分にあります。「このようなタイプの国際協力をささえてきたのが、WFP」とあります。「このような」の内容は直前の「途上国」に「緊急に食料支援」をすることです。いがある内容の説明としてふさわしいので正解です。あの「船や飛行機など……現場に送っている」はWFPの活動内容として正しいですが、何のために送っているかという問いのためであり、そちらの方が活動趣旨の主なもので、いの方がより適切であり、あは解答としては不適切です。う・えはWFPとは別の国際協力のタイプの説明であり、不適切です。
- 問9 空欄にあてはまる語を探す問題です。空欄Cには「食料の国際協力」の第二のタイプを二つに分けたうちの一目を一言で表した言葉が入ります。Cのあとの段落は「もう一つの技術的な国際協力」で、Cに関する説明はありません。その次と次の段落は「食料の貯蔵や輸送の設備を整えるための技術協力」の説明で、やはりCに関する説明はありません。空行のあとの段落は「国際協力の第三のタイプ」の説明です。一見、またCに関する説明はなさそうですが、3文目に「さきほど、緑の革命による新品種が食料問題の改善に大きな役割を果たしたといいましたが……」と、以前の内容に関する記述があります。「食料の国際協力」の「第二のタイプ」を二つに分けたうちの一目は「作物の新しい品種をほかの国に広げることや……」です。つまり、この文はCを含む段落の内容を受けている文です。ここに着目して「緑の革命」という四字の言葉を見つけます。
- 問10 内容を理解し、まとめた文の空欄にあてはまる語をぬき出す問題です。Iのあとに「が未発達であるため」とあるので、Iには途上国では「未発達」な内容が入ります。⑦の直後に「輸送や貯蔵の手段を整えることは……」とあるので、未発達なのは「輸送や貯蔵の手段」だとわかります。ただし、十一文字でぬき出す条件なので、この部分ではありません。「輸送や貯蔵の手段」について説明されている他の部分として一つ前の段落があります。二文目に「それは食料の貯蔵や輸送の設備を整えるための技術協力です」とあります。「技術協力」をしなければならないということは、今は「未発達」な分野であるということもわかります。この部分から条件に合うようにぬき出すと「食料の貯蔵や輸送の設備」となります。IIのあとに「困難である」とあるので、IIには途上国では「困難」な内容が入ります。3ページ上段後ろから3、4行目に「多くの途上国の場合、……むずかしい状態なのです」とあるので、この部分に着目してぬき出します。
- 問11 内容を理解し、設問の指示にしたがって記述する問題です。指定語句があるということは、指定語句を用いて記述しないと正解しないということになりますが、言い換えれば文章中で指定語句に関する部分がヒントとなって答えが導き出せるということにもなります。「現地の出身者」とは「その国や地域について豊富な知識をもつ人々」です。この人々を専門家として育て上げることが「大切になる」理由は、「大切になる」の前に「そこで」という言葉があることから、前の段落に書いてあるとわかります。前の段落で指定語句の「技術」「食べ物」が含まれる部分は、「地域の条件によって、農業に必要な技術が異なることも多い、

「国によって食べ物の好みにもちがいがあります」という箇所です。

設問の指定は、「技術」「食べ物」という二つの言葉を必ず使い、「気象条件や地形によって、……から。」という形の、六十字以内の文とあるので、それにしたがってまとめていきます。

例：※農業に必要な技術が異なり、食べ物の好みにもちがいがあるので、その国や地域について豊富な知識をもつ人々が大切になる

問12 本文の内容を理解して、それぞれの文の正誤を^{せいご}考える問題です。①～④の文が、それぞれ本文中のどの部分に対応しているかを探して考えていくとよいでしょう。

①の「世界の栄養不足人口は、……FAOの二〇一八年の発表では、今後も段階的に低下していきたくらうと予測されている」は本文と合致しません。——③を含む段落では「FAOは二〇一八年に『近年、栄養不足の人口は増えてきている』と発表しているのです」とあり、逆の内容になっています。

②は——③の直前に書かれている内容と合致しています。

③の前半は本文と合致しますが、「先進国の食品ロスを……」からの後半が合致しません。先進国の食品ロスについては——⑦を含む段落で触れられています。「食品ロスを飽食の国、つまり豊かな先進国の問題として紹介しました」とあります。「飽食」とは「十分に食べて満ち足りること。食べ飽きるほど食べ物があること」です。この場合の「食品ロス」は贅沢の結果、本来食べられる食品が捨てられてしまうことだと推察できます。これは「技術面」の問題ではなく、「精神面」の問題だと言えますし、そもそもここまで本文で言及されていないので、本文の内容からははっきりとはわかりません。よって、③の「技術面でのさらなる向上が不可欠である」の部分が合致しない(本文には書かれていない)と言えます。

④は3ページの最後から2行目「さらに、……」で始まる段落に書かれている内容と合致しています。

二 文学的文章

問1 登場人物の言動の理由をとらえる問題です。——①前に「『すごいじゃん！武市が作ったの？』」というセリフがあり、そのあと「指を見」て、「この指が、紙を丁寧^{ていねい}に折り合わせていき、こんなに綺麗なボール玉を作ったのか」と思っています。折り紙作品に感動し、その作品を生み出した指に注目していることから、いが適切だとわかります。あの「緊張してしまった」、うの「手品」は、ほのかがボールを作った武市の手を確認する文脈に合わず、適切ではありません。えは感動した作品を作った指に注目している点ではあと同様ですが、——①の直前の「武市の顔を見て、それから」の部分とつじつまが合わないため、適切ではありません。

問2 省略された語の補充^{ほじゅう}問題です。言葉を省略できるのは、省略しても文の意味が通じるからです。なぜ、省略しても文の意味が通じるかといえば、すでに一度述べられているからだと考えられます。——②の文は述語が省略されています。実は主語も省略されていますが、設問では「この言葉のあとに言葉を補う」とあるので、述語だけを考えます。直前の文の述語は

「思い出した」です。「武市が絵や工作がとても上手なことを」思い出し、「とても上手なこと」の連想で「毎年、武市の作品が選ばれて、職員玄関の前の展示の棚に飾られていること」を思い出したのです。

問3 登場人物の心情の理由をとらえる問題です。——③の直後の段落に着目します。「物を作るのが得意」で「物を作ることに、夢中になる」武市と自分を比べてしまい、自分には「得意なものも、夢中になれるものも、なにもない」と「気持ちが沈んでゆく」のです。うの内容が合致します。あの「武市は嬉しそうな顔をしなかった」、いの「この場では浮いていると感じられた」、えの「武市と話している間も……頭から離れなかった」は、いずれもほのかの夢中になれることとは関係がなく、適切ではありません。

問4 登場人物の言動の理由をとらえる問題です。「委員決めの学級会」で「教壇に立った」ときのことが描かれているのは8ページの下段前半です。——④の直前の「教壇に立ったとたんに、足が凍んだ」と同様の内容が、8ページ下段3行目に「教壇に立ったら、足が凍んだ」とあるので、これ以降の文に着目します。「代表委員になってしまったから、怖くなった」、「クラスの代表である自分が……できないと思ったから」とあり、「ほのか」は「ひと言も発せなかった」理由は「代表委員になってしまったから」だと思っていることがわかります。「クラスの代表委員になってしまった」ことにより、それまではなかった「代表委員として」の「プライド」が「芽生えた」のです。その「プライドが、かえって心を縮こまらせた」結果、「舌はこわばっ」て、「ひと言も発せなかった」のだとわかります。

問5 擬態語の空欄補充の問題です。□A□には武市の「宝田さんは、なんでもできる」というセリフの言い方を表す言葉が入ります。□A□の直前に「ほのかに言い聞かせるように」とあり、そこに適切なものはえの「ゆっくりと」だとわかります。□B□には武市の「ほのかの混乱を次々と修復してくれた」様子を表す言葉が入ります。□B□の直前に「魔法のように」とあります。「魔法のように」というたとえは「ふしぎなほど簡単に物事を成す」という意味で使われます。すると、あの「らくらくと」が適切だとわかります。□C□には「ほのか」に「勇ましい気持ちが生まれてゆく」様子を表す言葉が入ります。□C□の次の行に「自信の芽が上を向く」というたとえがあります。「勇ましい気持ち=自信の芽」が「歩くごとに」「生まれてゆく」様子にふさわしいのはかの「むくむくと」です。「芽」が伸びていく様子を表しています。ちなみに、いの「せかせかと」はせわしなく急いで動いている様子、うの「きびきびと」は手際よく物事を片付けていく様子、おの「じわじわと」は少しずつしみこむように物事が進む様子を表しています。

問6 登場人物の心情理解の問題です。——⑤の直後では「どうして泣きたくなるのか分からなくて混乱した」とあります。ですが、8ページ下段の空行の直前に「それが分かるから、ほのかは泣きたくなるのだ」とあり、「それが分かる」ことが「泣きたくなる」理由だとわかります。「それ」とは直前の「彼の言葉に嘘はない」です。「彼の言葉」とは「宝田さんは、な

んでもできる」という言葉であり、その言葉を「ほのか」は「こんなに信じてもらえたこと、自分をまるごと認めてもらえたこと」を表す言葉だととらえています。つまり、この場合の「泣きたくなる」はうれし泣きです。すると、いの内容が適切だとわかります。あの「悲しんでいる」、えの「申し訳なく思っている」は、いずれもうれし泣きには適切ではありません。また、うの「勇気づけているのだと感じ、心強くなっている」のは適切ですが、ほのかがボール玉を作れるかどうかを問題にしているわけではないので、「自分にもあの綺麗なボール玉が作れると」という部分が適切ではありません。

問7 文章表現理解の問題です。同じ言葉を繰り返すのは、その言葉を強調したいからです。——⑥の2文後に「最後まで手を挙げ続けた」とあることからわかるように、「ほのか」の「代表委員になること」に対する意志はとても強いです。「なりたかった」という表現を重ねることで強調されるのは「代表委員になりたい」という意志なので、えが適切です。あの「代表委員の仕事がいかに重要で、大変であるか」は本文からはわからず、適切ではありません。いが正解ならば「『やだ』と言った」や「『やだ』と思っていた」、もしくは端的に「『やだ』」といった言葉が繰り返されるでしょうから、「『なりたかった』という表現を重ねることで」と矛盾し、適切ではありません。うの心境の変化は——⑥の時点ではなく、下段3行目の「それなのに、いざ代表委員になって……」の時点なので、この部分の説明としては適切ではありません。

問8 登場人物の言動の理由をとらえる問題です。——⑦のセリフが言われたのは「ようやくネズミができあがった時」です。「大学生をはじめとする数人のメンバー」は、「ほのか」が「つまずくたび」に「手伝いに来てくれた」武市の様子を見ていたことでしょう。「武市はすぐに状況を把握し、的確に解決してくれた」、「武市は、何度ほのかがつまずいても、飽きることなく淡々と正しい形に戻してくれる」といった様子です。えの内容が適切だとわかります。あの「作り上げた作品があまりにも見事」は適切ではありません。そもそもこの「折り紙探検隊」では「ゾウを作るコースと、ネズミを作るコースがあって」、作る作品は「ゾウ」か「ネズミ」かのどちらかで、武市が作ってきたような見事な「ボール玉」などを作ることはしません。また、武市がどちらのコースを選び、どのように作り上げたかは本文には書かれていないため、不適切だと言えます。いの「『ほのか』への対応がとてもやさしかった」は適切ではありません。「つまずくたび……」、「何度ほのかがつまずいても……」手伝いに来てくれるのは「やさしい」と言えますが、その態度は「淡々と」です。「とてもやさしかった」とは言えません。うの「探検隊にとってもなじんでいる様子」は本文には書かれていないため、適切ではありません。

問9 登場人物の心情とその理由をとらえる問題です。——⑧の「その気持ち」とは「自分が持ってきた折り紙を、全部武市にあげたいと思った」気持ちです。なぜそんな気持ちになってきたかという、——⑧の3行前の「笑顔を滅多に見せない……染まっているのを見た」からですが、その内容は設問のまとめ文にすでに書かれています。「I」ことや」とあるので、

もう一つ理由があることがわかります。そこで、——⑧の9行前に「持ってきた折り紙の残りを全部武市にあげる」という同様の表現があることに着目します。その文の初めに「だから」とあるので、理由はその前に書いてあります。「そのことが、ほのかは嬉しかった」からです。では「そのこと」とは何かというと「折り紙探検隊の大学生たちは武市を……折り紙の仲間として認めた」ことです。この部分を使って□Iにあてはまる言葉をぬき出します。□IIは「自分が持ってきた折り紙を、全部武市にあげたいと思った」、「持ってきた折り紙の残りを全部武市にあげる」の中から条件に合う形でぬき出します。

問10 登場人物の心情理解の問題です。——⑨の2行後に「次の言葉で、その理由が分かった」とあります。「宝田さんは、折り紙、もうやらないのか」という武市の発言は、「ほのか」の折り紙をいらぬという発言を受けてのことであり、「ほのか」は折り紙をやらないので必要ないのだと思い、武市の顔は暗く沈んでいるとわかります。この内容に合うのが適切です。あの「腹を立てている」、いの「責任を感じている」は、いずれも適切ではありません。また、えの「悲しくなっている」は適切ですが、その原因の「折り紙を好きになってくれるようがんばった」という点が本文の内容とは合わないため、適切ではありません。

問11 人物像の理解の問題です。本文から読み取れる武市は、言葉少なですが「ほのかを慰めるように」言ったり、「ほのか」の自分で自分をばかにするような言葉に「笑わなかった」りする思いやりのある人物です。「絵や工作がとても上手」な人物でもあります。また、「何度ほのかがつまずいても、飽きることなく淡々と正しい形に戻してくれる」根気強さがあり、「笑顔を滅多に見せない、人によって態度を変えることのない」人物です。これをふまえて選択肢を見ていくと、あは適切だとわかります。いの前半は適切ですが、後半の「興味のないことには手を出さない消極的な人物」であるかどうかは本文からは読み取れないため、適切ではありません。うの「人によって態度を変えることはなく」は適切ですが、「大学生たちとも対等に向き合いたいと思っている」かはわかりませんし、「自信満々な人物」は言葉少なくおとなしげなところと矛盾し、適切ではありません。えの前半は適切ですが、武市が感情的になる場面はなく、後半の「相手の言葉や行動に対する思いが表情に出てくる感情的な人物」は適切とはいえません。

問12 内容を理解し、会話文を補充する問題です。□Xには「自分に自信の持てない子」だと思ふ根拠として、本文中に書かれている「ほのか」が「思っていたこと」が入ります。「ほのか」が自信なさげな様子が書かれていたのは——③の2行後の「自分にはそんなふう得意なもの、夢中になれるもの、なにもない」という部分と、8ページ上段の9行目「そんなに難しいものを自分には到底作れない」、そのあとのセリフの「『……うちでできるかな。……』」、「『……うち、パカだし』」の部分、そして、——⑤の2行後の「自分にできることなど、何もないような気がしていた」という部分です。この中から十五字でぬき出せる箇所を探します。□Yには「歩くごとに」どうなるかが入ります。また、「自分に自信の持てない子」だった「ほのか」が「物語の途中から変わってきた」あとの様子が入ることも会話

文からわかります。これをふまえて本文を探すと、**C**の直前に「歩くごとに」と書いてあるので、そのあとを探せばいいとわかります。どうなるかという、「勇ましい気持ちが生まれてゆく」、「^{ほの}灰かな光のように、自信の芽が上を向く」です。この中から九字でぬき出せる箇所を探します。**Z**には「武市と話して」どうなったかが入ります。それは、「自分に自信の持てない子」から**Z**と変わっていく原因にもなることです。「武市」の言葉の中で「ほのか」の変化に最も影響したのは「宝田さんは、なんでもできる」という言葉です。その言葉を聞いた「ほのか」は「武市は言ってくれた」(8ページ下段中央)と感謝しています。そして、「こんなに信じてもらえたこと、自分をまるごと認めてもらえたこと」の象徴である「宝田さんは、なんでもできる」という言葉を反芻(はんすう)(繰り返し考え、よく味わうこと)しています。この内容をふまえると、うが適切だとわかります。あの「本気でやりたいと思えるもの」はまだ見つかっていないので適切ではありません。いの「代表委員に立候補してよかったと思えた」は「なんでもできる」という言葉に対して限定的で適切ではありません。えの「自分は何にでもなれると気づいた」は何者になれるかとまでは気づいているわけではなく、武市と話す中で自信が芽生えてきただけなので適切ではありません。

漢字・語句

- 問1 漢字の読み書きの問題です。読み、書き、ともに、ていねいに書くという意識を持ちましょう。略字や雑で読めない字は正答になりません。①の「副賞」とは「正式の賞にそえて出される賞金や賞品」のことです。「フク」は「正(主)」に対する「副」であり、「福」ではありません。音が同じで形も似ているので、意味から考えて間違えないように気をつけましょう。②の「健在」は、「健康に存在している」ことです。③の「退」の音読みは「タイ」、訓読みは「しりぞ(く)」です。③では「引退」という意味で使われています。「ひ(く)」や「の(く)」などの訓読みもありますが、小学校では習いません。④の「仮装」は、「仮の装い」のことです。「仮」の音読みは「カ」「ケ」、訓読みは「かり」「か(す)」です。「装」の音読みは「ソウ」「ショウ」、訓読みは「よそお(う)」「よそ(う)」です。⑤の「背泳」は、「背泳ぎ」のことです。「背」の音読みは「ハイ」、訓読みは「せ」「せい」「そむ(く)」で、「泳」の音読みは「エイ」、訓読みは「およ(ぐ)」です。⑥の「浴」の音読みは「ヨク」で、「入浴」「日光浴」などの熟語があります。
- 問2 同義語と対義語の問題です。引掛(ひっかけ)りやすい誤答として、同義語を答えるべきなのに対義語を選んでしまう、もしくは対義語を答えるべきなのに同義語を選んでしまう、というものがああります。混同しないように留意しましょう。①「気品=風格」という同義語です。「気品」とは「品格が気高い」ことです。「風格」とは「その人の容姿や態度に現れる品格」で、「高い品格」のときに用います。②「賛成=支持」という同義語です。「支持」とは「他人の意見に賛成し、後押し(あとお)する」ことです。③「集合⇔解散」という対義語です。「結集」は「集合」と似た意味の言葉ですが、③は対義語を答える問題です。④「移動⇔固定」という対義語です。「転送」は「移動」と似た意味の言葉ですが、④は対義語を答える問題です。

四 語句・言葉のきまり

問1 ことわざの知識の問題です。ことわざの中には、生き物の名前や植物の名前を用いたものがたくさんあります。日常生活の中で見たり聞いたりしたことわざがあったら、ことわざの本や辞書で意味を覚えましょう。①は、「馬の耳に念仏」です。「馬にありがたい念仏を聞かせてもそのありがたさがわからず無駄である」、つまり、「いくら意見を言って聞かせても、全く効果がない。聞く耳を持たない」という意味になります。その結果、いの「無意味」が意味の近い言葉だと言えます。同様の意味で「馬耳東風」という四字熟語もあります。「馬」を用いたことわざには、他に「馬子にも衣装」(よい服装をすればだれでもそれなりに立派に見えることのたとえ)、慣用句には、「馬が合う」(気が合うことのたとえ)や「尻馬に乗る」(他人の言動につられてよく考えずに行動することのたとえ)、故事成語には、「塞翁が馬」(幸せや不幸は予想できないことのたとえ)などがあります。②は、「木に竹をつぐ」で、「木に竹をつなぐ」ように「違う性質のものをつなぎ合わせる」ことで、「前後関係や筋が通らないこと」という意味になります。その結果、えの「不自然」が意味の近い言葉だと言えます。「木」を用いたことわざには、他に「猿も木から落ちる」(どんな名人でも時には失敗することがあることのたとえ)、「竹」を用いた故事成語に「竹馬の友」(おさななじみであることのたとえ)などがあります。

問2 四字熟語の知識の問題です。①「八方美人」(「どこから見ても難点がない美人」という意味が転じた「だれからもよく思われるようにふるまうこと、ふるまう人」という意味)、②「三寒四温」(「冬季、もしくは冬から春に向かう頃の天候で、寒い日が三日続いたあとは暖かい日が四日ほど続く」という意味)、③「一石二鳥」(「一つの石を投げて二羽の鳥を得るように、一つの行為で二つの利益を得る」という意味)、④「十人十色」(「もののとらえ方や好み、考え方などは人によってそれぞれ異なる」という意味)で、 $8+4+2+10=24$ のうが正解です。

問3 文節の係り受けの問題です。文節がどこにかかるかは、かかる文節と受ける文節を直接つなげて、うまく意味が通るかどうかで確認するとよいでしょう。①の「遠くに」は、⑤「見える」にかかります。「ポツンと 小さく 遠くに 見える 白い 船は、～」と語順を入れ換えても、意味は変わりません。②倒置法などで語順が変わっていない限り、受ける文節はかかる文節よりあとの文節です。だから②の答えとして㉞や㉟は考える必要がありません。②の「貴重な」は、㉞「焼き物を」にかかります。「祖父の 集めた 古い 貴重な 焼き物を 使って、～」と語順を入れ換えても、意味は変わりません。

問4 日本語全般に関する問題です。

① この文には「先生」と「私」が出てきていて、「私」が「先生」に対して敬語を使うのは正しいです。しかし、「拝読し」たものは「話題の新刊」であり、自分で買った「話題の新刊」に対して「拝読する」という謙譲語を用いるのは正しい用法とは言えません。仮に、この「話題の新刊」が「先生」からいただいたものであるならば、「拝読する」でもおかしくありませんが、文には「買って」とあり、自分で買った本だとわかります。また、

仮にこの「話題の新刊」を書いたのが「先生」であるならば「拝読する」でもおかしくありませんが、その場合は「買って」ではなく「買わせていただいて」とこちらも謙譲語にするべきです。このように、統一性がないため、①は間違った日本語だと言えます。

- ② この文の主語は「分別は」、述語は「思います」です。「分別は、～思います。」という文では、主語と述語が対応しません。「分別は」を主語にするなら、「ごみの分別は、SDGsに貢献したいと思ってしていることです」、また、「思います」を述語にするなら、「ごみを分別することによって、私は、SDGsに貢献したいと思います」というような文にする必要があります。
- ③ 「大目玉を食う」とは「ひどく叱られること」という意味です。「重要な会議に遅れ」、目上の人である「社長から」「ひどく叱られる」のは当然のことなので、正しい日本語です。「大目玉を食う」という能動の形ですが、「叱られる」という受け身の意味なので、「食らう」という受け身の形に直す必要はありません。
- ④ 「他山の石」とは、「よその山から出た質の悪い石でも、自分の宝石を磨くのに利用できる」という話から「他人のつまらない言動も、自分の人格を育てる助けとなる」という意味で使われます。「社長のお言葉」を「他山の石」と言ってしまうと、「社長の言葉=つまらない言葉」という意味になり、失礼な言い方です。「教訓(教え諭された言葉、戒められた言葉)として」や「座右の銘(自らを戒める言葉、心の支えにする言葉)として」などとするといいでしょう。
- ⑤ 「白羽の矢が立つ」とは元々は「犠牲者として選ばれる」という意味でしたが、次第に悪い意味が打ち消されて、現在ではいい意味で「多くのなかから特に指定して選び出される」というふうにも使われます。ですから、「次期役員として」、「白羽の矢が立った」のは正しい日本語です。ちなみに、「白羽の矢が当たる」とするのは間違いです。「白羽の矢が立つ」とは、神の生贄として差し出されることになる少女の家の屋根に、目印として白羽の矢が立てられたという俗信が元になってできたことわざだと言われています。矢を射って当てたのではなく、目印として矢が立つので、「白羽の矢が立つ」となります。

2023年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日) 成績参考資料

【プレテスト全体結果】

平均得点

教科	得点
国語	82.3
算数	61.2
国算計	143.4

受験者数	410
欠席者数	81

【6年選抜コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	180	79	107.7	99.4	207.1	64.6
B(合格可能圏)	152	90	92.7	73.0	165.7	55.1
C(有望圏)	137	57	79.4	64.3	143.7	50.1

【6年進学コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	152	169	99.7	85.3	185.1	59.6
B(合格可能圏)	137	57	79.4	64.3	143.7	50.1
C(有望圏)	111	85	76.3	48.1	124.4	45.6

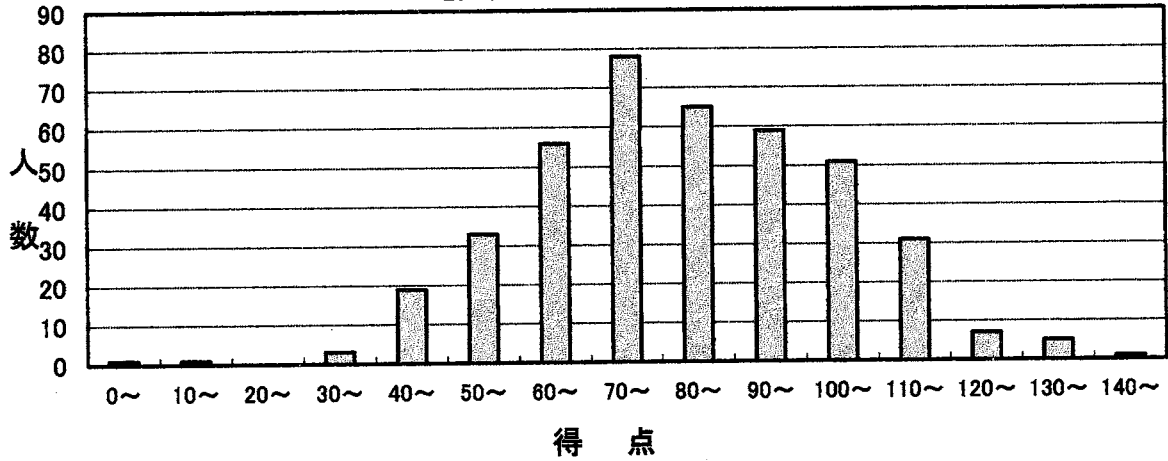
※表中の数値は、A・B・Cそれぞれの幅に入っている受験生の人数・平均点等を示しています。

2023年度入試 桃山学院中学校 第2回 プレテスト(11月23日) 合格判定基準詳細

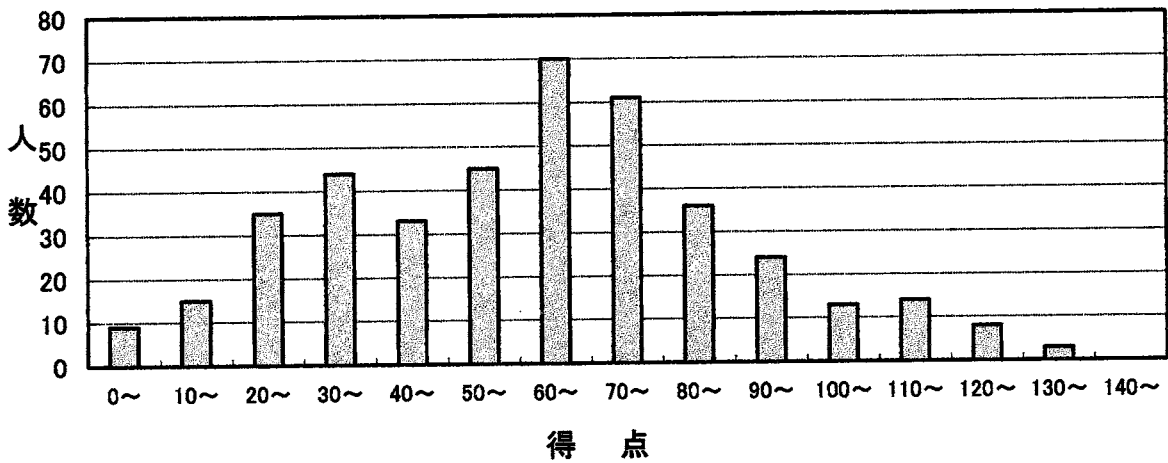
判定	内 容	2科目プレテストの基準点	
		選抜コース	進学コース
A判定 (合格安全圏) 合格率 90～98%	現在の国語・算数の実力から見れば、ほぼ安全圏です。 ただし、A方式入試には理科・社会もあります。理科・社会の得点も合格には大きな影響を及ぼします。国語・算数に関しては、今の調子を維持し、体調管理にも気を配り、万全の態勢で入試に臨んでください。油断は禁物です。A～C方式までチャレンジすれば合格は確実なものとなります。	180/300	152/300
B判定 (合格可能圏) 合格率 80%～95%	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」の可能性は大いにあります。この実力を入試本番までにさらに高めるように、より一層の努力を期待しています。 ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。 入学試験には、「自信」をもって臨んでください。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	152/300	137/300
C判定 (有望圏) 合格率 50%～80%	現在の国語・算数の実力から見れば、合格圏内に入るには今後の努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。これからの頑張り次第では、十分「合格」をねらえます。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	137/300	111/300
D判定 (努力圏) 合格率 10～40%	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」するためには、かなりの努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が非常に得意な生徒は、合格する可能性もあります。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性はかなり高まります。	/	/

2023年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日実施) 教科別総括

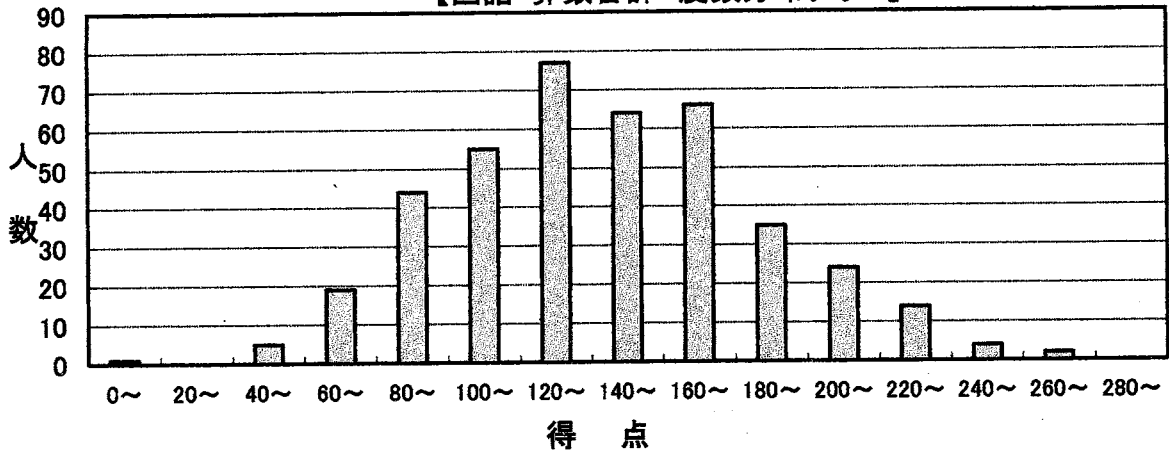
【国語 度数分布グラフ】



【算数 度数分布グラフ】



【国語・算数合計 度数分布グラフ】



【国語】

◆大問一

世界の栄養不足人口、食糧問題について論じた文章。長文読解に加えて文の冒頭にあるデータ分析を求める新傾向に向けた問題であった。文章そのものとしては食糧問題対策について、箇条書きのようにまとめられていたのも、全体的には読みやすい文章であったが、最初のデータ分析で苦戦した人もいたかもしれない。

正答率が高かった問題

問2の内容理解問題、問4の接続詞挿入問題。ここに限らず全体的に内容理解は出来ていた印象です。

正答率が低かった問題

問11の記述問題。設問に空欄を作っており、ここに入るように文をまとめる必要がありますが、理由を聞かれたので文末を「～から」としているものが散見されました。設問を読む、解答条件を確認する。解く前にくれぐれも注意するようにしましょう。

◆大問二

小学六年生の宝田ほのかは夢中になれることが何もなく、自分に自信を持ってない。クラスメイトの武市陽太と折り紙のイベントに参加し、武市との関わりの中で自分に対する自信が芽生えていく物語。武市との対話の中で相手の気持ちをくみ取りながら理解を深めていく展開を意識したい。

正答率が高かった問題

問3の内容理解問題。物語前半で読み取りやすい箇所だったかもしれません。他の部分も落ち着いてもう一度見直してみましょう。

正答率が低かった問題

問12のXとZ。Xは「夢中になれるものも、なにもない。」というのもしげそうに見えますが、この部分を入れるなら、「得意なもの」を切り取るのは不自然になってしまいます。Zはやや紛らわしい選択肢であったかもしれませんが、文章終末の、自信が芽生えた場面を問う問題で「あ」の本気でやりたいものが見つかる、「え」の何にでもなれる、はそれぞれ言いすぎの感があります。

◆大問三

正答率が高かった問題

問1の④、⑥。読み問題は正答率が高い傾向にありますが、読み書きはセットで学ぶ習慣をつけましょう。

正答率が低かった問題

問2の②。賛成の同義語の「支持」が難しかったようです。漢字は字の意味を覚えるようにしましょう。

◆大問四

正答率が高かった問題

問2の四字熟語。よく出来ていた印象です。試験前も取り組んでいる姿を見かけました。

正答率が低かった問題

問1の②。「木に竹をつぐ(接ぐ)」竹と木をつなぐ、不自然なことです。慣用表現はやればやるほど力がつきます。

【算数】

◆大問1 (計算問題)

4問とも全体的に良くできていました。分数や小数を含む計算や計算の途中が穴抜きになっている問題は毎年出題しています。間違えた人は、解き直してどの部分で間違えたのか確認し、復習しておいてください。

◆大問2 (小問集合)

基礎的な内容を幅広く出題しています。配点が高い大問なので、充分に対策をしてください。(1)～(3)、(5)は多くの人ができていましたが、逆に(4)(6)はあまりできがよくなりませんでした。

(4)は、自分のクラス以外のチームと対戦することを読み落としている人がいました。(6)は上の3分の2の部分を平面が二等分していることがポイントです。大問2に関してもまずは確実に半分を得点できるように準備していきましょう。

◆大問3 (拡大・縮小の問題)

(1)はよくできていました。(1)はBPを辺にもつ図形の拡大・縮小を考えて下さい。(2)はBRとRQとQHを合わせた全体のBHの長さを1として考えてみましょう。(3)は(2)の結果をうまく利用しましょう。

◆大問4 (速さと道のりの問題)

(1)はよくできていました。(2)は弟の歩く速さを求めましょう。(3)はまず、兄が公園を出発した時点から考えてみましょう。グラフから情報を読み取る問題ですので、グラフが何を表しているのかをしっかりと理解することが重要です。また問題文とグラフを両方見ながら解くようにしてください。

◆大問5 (割合と比の問題)

あまりできはよくありませんでした。3台、4台のポンプによって1分間に減っていく水の量を比べてみましょう。途中からポンプを増やしているので、増やしたときの時間変化がくみ出した量にどう影響するのかをしっかりと考えましょう。

◆大問6 (整数の性質の問題)

(1)は、比較的取れている人も多かったです。(1)はそれぞれの針が1目盛り進むために必要なボールの個数を考えましょう。基本の基本ですが、まずはしっかりと問題を読むことです。問題文が長いので1度で内容を理解できる人は少ないと思います。複数回問題を読んで、意図を理解しましょう。問題の内容を理解していれば(1)はそれほど難しくありません。まずはしっかりと(1)を正解できるようにしましょう。

中学入試問題の出題意図－1

国語

①漢字の知識

- ・小学校学習範囲の漢字を、正しく読み書きできるか。
- ・部首や筆順、音訓、熟語の構成など発展的な漢字の知識が身についているか。

②語句・文法の知識

- ・現代の日本語文法の基礎的な知識を理解しているか。
- ・ことわざや慣用句、四字熟語、外来語の意味や日常生活の中での使い方を理解しているか。

③文学的表現の読解力

- ・文学的文章（物語・小説）を読み、場面の移り変わりや登場人物の心情などについての確に読み取れるか。
- ・読み取った内容についての確に要約し、自分の言葉で表現することができるか。

④論理的文章の読解

- ・論理的文章（説明文・論説文）を読み、内容や論理の展開および筆者の主張や結論を正確に読み取れるか。表や図などに関連させた複合的な判断力なども養っているか。
- ・読み取った内容についての確に要約し、自分の言葉で表現することができるか。

⑤受験生へのアドバイス

- ・漢字については、単に読み書きできるだけでなく、部首や画数、音読み訓読みの区別、送り仮名などについても十分に理解を深めておこう。
- ・ことわざや慣用句は、意味を機械的に暗記するだけでなく、日常生活の様々な場面や会話の中での適切な使い方を習得しておこう。
- ・文章を読んだ時に、簡単なあらすじを人に説明出来るように、普段から心がけよう。
- ・普段から新聞や物語、問題集の文章をより多く読むことで、様々な分野についての知識や高い読解力を身につけるとともに、60～100字程度で内容を要約したり、自分の考えを表現したりする力を身につけておこう。

算数

①計算について

- ・出題のねらい…整数・小数・分数の四則演算や逆算を、正しくできるか。
- ・配点…約30点

②一行問題集合(基礎・応用・発展)について

- ・出題のねらい…各分野の一行問題集合(基礎・応用・発展)を理解しているか。
- ・配点…約40点

③各分野の問題(文章題含む)について

- ・出題のねらい…各分野の問題について理解しているか。
- ・配点…約80点(うち、基本～標準を約6割、応用・発展問題を約4割出題)

④受験生へのアドバイス

- ・計算分野…すべての基礎となるので、十分に練習しておこう。
- ・基本分野…応用力養成のためにもおろそかにせず、いつでも使用可能なように徹底的に定着させておこう。
- ・応用分野…定型化された思考にしばられないように、条件を整理してあらゆる可能性を試すように、訓練しよう。

中学入試問題の出題意図－2

理科

①物理・化学・生物・地学各1題ずつ

- ・配点…約25点ずつ
- ・基本的事項を理解しているか。
- ・実験や観察結果などから分析、考察する力がついているか。
- ・応用した計算などができるようになっているか。
- ・また、各教科に関連した時事問題に関心をもっているか。

②受験生へのアドバイス

- ・教科書でよく取り上げられる実験、観察方法などをまとめておきましょう。そして実験方法や計算だけに注意するだけでなく、応用できるよう物事の本質を理解しましょう。環境や自然科学に関連するニュースに興味を持ち、現代の課題に関する知識を深めておきましょう。

社会

①地理が2題（各20点）、歴史・公民分野各1題（30点）ずつ

- ・出題のねらい…各分野における基礎的知識を、正しく理解しているか。また、幅広い視野を有しているか。※各分野をまたがって出題することもある。

②受験生へのアドバイス

- ・地理分野…世界の主な地形・国名・地域名などを中心に基礎的な用語を整理し、また日本の地域の特徴・産業の結びつきなどをまとめておこう。
- ・歴史分野…歴史資料や年表に注意するだけでなく、テーマごとに歴史的事項の原因・経過・結果といった流れを把握しておこう。また、時事問題などにも幅広く関心を持つとともに、歴史事象を関連づけながら学習しよう。
- ・公民分野…公民分野を学習する際には、用語とその意味などの基礎的なことを理解するとともに、事がらの歴史的経緯も理解するように努めよう。新聞などを読み、現代社会がかかえている様々な問題や、今起きている出来事にも目を向け、公民分野の知識と関連させながら学習しよう。

国語入試問題の出題内容について

1. C方式の出題形式

◇C方式入試（国語/表現力テスト）

通常の長文読解問題として長文を読み、設問に答える形式の問題を1問出題します。

ここには、漢字や語句・文法問題も含まれます。（100点/150点中）

また、表現力テストとして300～400字で、与えられたテーマに従って文章を作成する形式の問題を出題します。（50点/150点中）

2. 表現力テストについて

本校C方式入試では、「国語/表現力テスト」として、単なる文章読解力を問う形式のテストに加え、より実践的に文章構成力や表現力を問う形式のテストを行います。

「表現力テスト」は、以下のような力を量ることを目的として行われます。

- ①発想力……与えられたテーマに基づき、それにふさわしい内容の文章をその場で考え出す力。
- ②文章構成力…考え出した内容を、定められた文章量や形式に従って一定時間内で書ききる力。
- ③文章表現力…原稿用紙の正しい使い方を守り、自分の考えを適切でていねいな言葉づかいおよび文字づかいで表現する力。「文のねじれ」等がなく、きちんとした文章を書く力。

採点基準

- ①与えられたテーマにふさわしい内容が書けているか。
- ②句読点の表記や記号の使い方等を含む、原稿用紙の正しい使い方ができているか。
- ③誤字・脱字や文法上の誤り、「文のねじれ」等がないか。
また、接続詞や助詞が適切に使えているか。
- ④字数を守り、ていねいな文字で書かれているか。
- ⑤内容のまとまりにより、段落構成が正しくできているか。

※試験時間は50分です。その時間内で長文問題の読解と文章の作成、文章の見直しをバランスよく行ってください。

中学校入試「国語A・B・C方式」

☆出題傾向は大きくは変化しませんが、新傾向の問いも考えています。

☆抜き出し問題の抜き出しミス(誤字・脱字)→X

☆誤字脱字・読めない字→減点がX

☆できるだけ漢字を使う。(読みやすい)

☆記述問題→文字数を厳守。

※X字以内でという場合はXの8割以上書く。8割未満→X

※8割目のマスに「。」はOK

※X字以上Y字以内の場合、X字未満→X Y+1字以上→X

☆記述の仕方(例が書いてあれば同じように書く。自分でアレンジしない)

☆入れるべきキーワード→必ずすべて書く(順序は問わない)

☆文末の「。」必ずつける。

※「なぜ○○なのか。」→○○だから。

※「どのようなことか。」→○○と○○と。

※「どのような気持ちか。」→○○という気持ち。

※「どのような様子か。」→○○という様子。

※「どういう人か。」→○○という人。

など、基本的には問いのオウム返しで。

ただし、

☆キーワードがすべてあり、文字数も満たしていても、文章自体の意味が?はX

※主語・述語のねじれがある→X

※言葉の使い間違え→X

※句読点のない長文→減点がX

☆文字に関しては、達筆は不要→楷書で一画一画しっかり、はっきり書く。

続け字で、画数が変わることがないように。

☆えんぴつ(シャープペンシル)の字の太さ→太い字は読みにくい。

☆消しゴムの使い方が悪いのか、消しゴム自体が悪いのか、信じられないほど汚く
なっている答案や箇所がある→X

☆「、」「。」「は過不足なく。一文が長すぎる文や短文の連続などがないように」。

☆「?」「や」「ー」は会話文以外には使わない。

☆答案を丁寧に作成し、「採点者を自分の味方にする」

C方式 作文の書き方・注意点

☆段落指定があれば必ず従う→「段落なり」「段落で。」 すく「改行をしない

☆文字数指定があれば必ず従う→何百字以上何百字以内。

☆「文末の統一」 ↓ 「だ。」 「です。」

また「は」「を」「が」「を」で統一。

☆「思ったことは」と思った。「感じたじや」と感じた。・・・×

「思ったことは」といつじやだ(です)。「・・・○

「感じたことは」といつじやだ(です)。「・・・○

☆作品名や引用文・会話文には「」をひける。

☆誤字脱字注意。書き直す時は、消し「△」を「罨」使う。答案を汚くしない。

☆原稿用紙の使い方↓段落の最初の「マス」を空ける。

文末の「。」をひくから。原稿用紙各行の頭「」「」「。」が来ないよう「」。

☆会話文の最後は「マス」。

☆会話文以外で、話し言葉(口語的表現)・大阪弁は使わない。

具体例

・「はげん」・・・× 「はげんや」「んが」・・・○

・「や」・・・× 「や」・・・○

・「ちゃん」・・・× 「きちんや」「つかさ」・・・○

・「はっはっはだ。」・・・× 「かなりだ。」・・・○

・「今うち」・・・× 「うちや」・・・○

・「じゃな」・・・× 「じゃな」・・・○

・「あんなのは」・・・× 「そつ」「そつは」「そつや」・・・○

・「あんまり」・・・× 「あまり」・・・○

・「AとかBとか」・・・× 「AやBや」・・・○

・「とうとうか」・・・× 「むつろ」「うせ」・・・○

・「だったんだ」・・・× 「であつたのだ」・・・○

・「んじゃ」・・・× 「のじゃ」・・・○

・「んだな」・・・× 「のだな」・・・○

・「してた」・・・× 「してつた」・・・○

・「してる」・・・× 「しててる」・・・○

・「いろんな」・・・× 「いろんな」・・・○

・「こんな・そんな・あんな・よんな」・・・× 「このよんな」・・・○

☆最後に他人になったつもりで「推敲」する。 以上 国語科